

**第 6 次相生市総合計画策定のための
アンケート調査結果
報告書**

平成 30 年 9 月

相生市

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査設計	1
3 回収結果	1
4 報告書の見方	1
II. 調査結果	2
1 あなた自身のことについて	2
2 今後の暮らしについて	7
3 相生市のまちづくりについて	17

1. 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、平成 33（2021）年度からスタートする『第 6 次相生市総合計画』の策定にあたり、市民に対して本市のまちづくりについてのご意見等をうかがい、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

2 調査設計

- 調査対象者：相生市に在住する 18 歳以上の市民
- 抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
- 調査期間：平成 30 年 7 月 17 日～7 月 31 日
- 調査方法：郵送による配布・回収

3 回収結果

調査対象者(配布数)	有効回収数	有効回収率
3,000 件	1,326 件	44.2%

4 報告書の見方

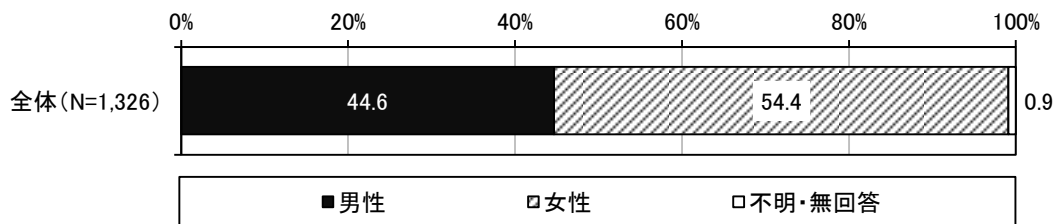
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 設問によっては、結果を詳細に分析するため、クロス集計表を掲載しています。

II. 調査結果

1 あなた自身のことについて

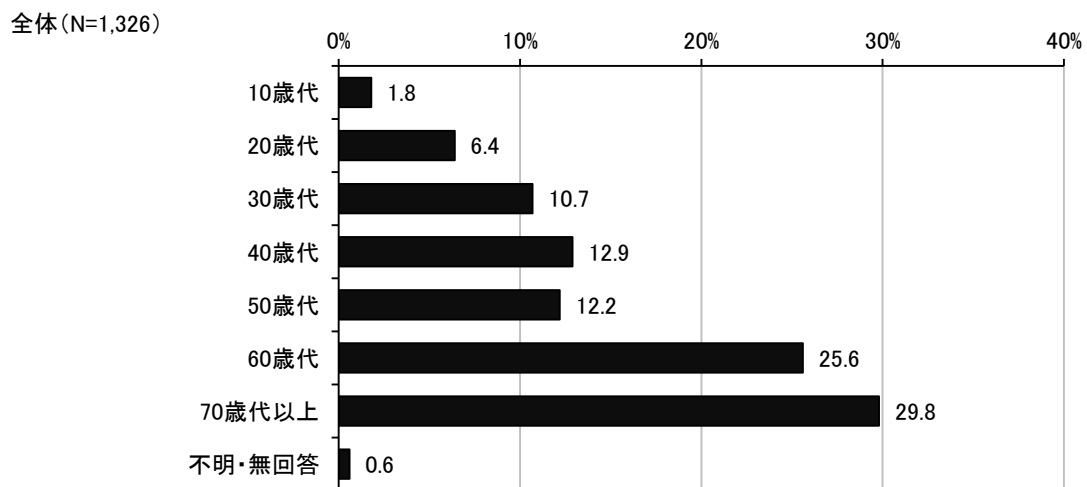
問1 あなたの性別は、次のどちらですか。(1つに○)

「男性」が44.6%、「女性」が54.4%となっています。



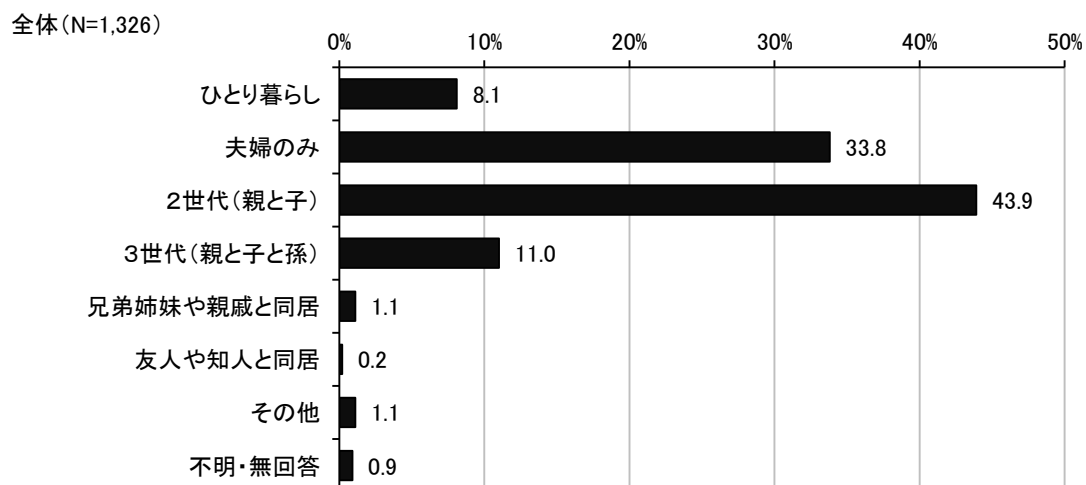
問2 あなたの年齢を教えてください。(平成30年7月1日現在)(1つに○)

「70歳代以上」が29.8%と最も高く、次いで「60歳代」が25.6%、「40歳代」が12.9%となっています。



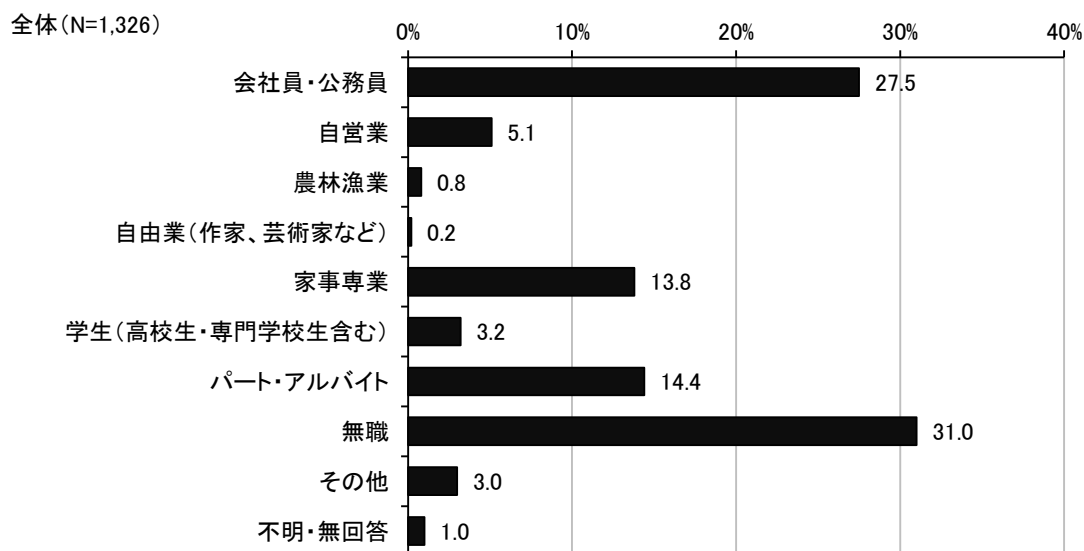
問3 現在一緒に住んでいる家族は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

「2世代(親と子)」が43.9%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が33.8%、「3世代(親と子と孫)」が11.0%となっています。



問4 あなたのお勤め状況は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

「無職」が31.0%と最も高く、次いで「会社員・公務員」が27.5%、「パート・アルバイト」が14.4%となっています。



■問4 × 性別・年齢別

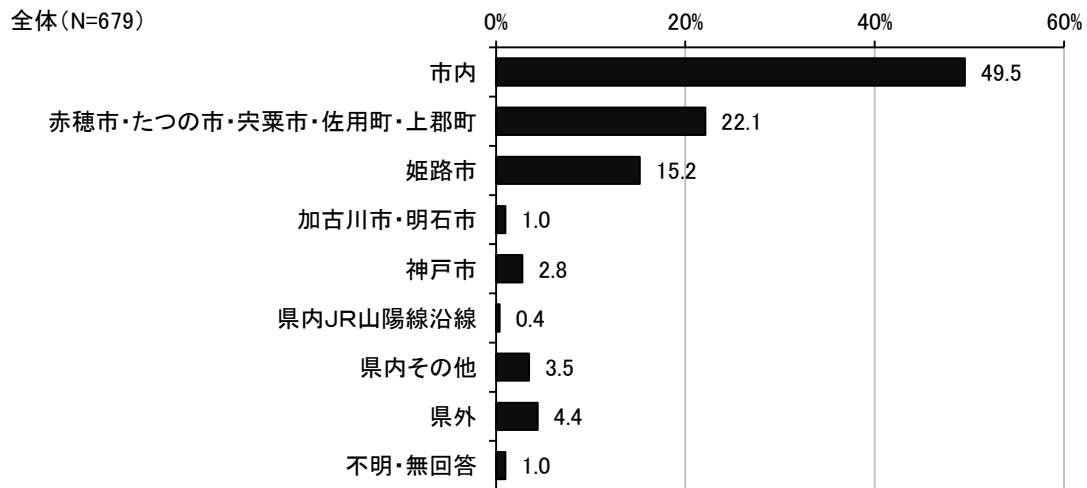
性別にみると、『男性』では「会社員・公務員」、『女性』では「無職」が多くなっています。

年齢別にみると、『10歳代』では「学生（高校生・専門学校生含む）」、『20歳代』『30歳代』『40歳代』『50歳代』では「会社員・公務員」、『60歳代』『70歳代以上』では「無職」が多くなっています。

上段:件数 下段:%	会社員・ 公務員	自営業	農林漁業	自由業(作 家、芸術家 など)	家事専業	学生(高校 生・専門学 校生含む)	パート・ アルバイト	無職	その他	不明・ 無回答	
全体 N=1,326	364 27.5	68 5.1	10 0.8	3 0.2	183 13.8	43 3.2	191 14.4	411 31.0	40 3.0	13 1.0	
性別	男性 N=592	246 41.6	44 7.4	6 1.0	0 0.0	1 0.2	22 3.7	36 6.1	217 36.7	20 3.4	0 0.0
	女性 N=722	118 16.3	24 3.3	4 0.6	3 0.4	181 25.1	20 2.8	155 21.5	190 26.3	20 2.8	7 1.0
年齢別	10歳代 N=24	4 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	20 83.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代 N=85	41 48.2	2 2.4	0 0.0	0 0.0	5 5.9	22 25.9	9 10.6	4 4.7	1 1.2	1 1.2
	30歳代 N=142	88 62.0	3 2.1	1 0.7	1 0.7	14 9.9	1 0.7	21 14.8	8 5.6	5 3.5	0 0.0
	40歳代 N=171	86 50.3	14 8.2	0 0.0	0 0.0	16 9.4	0 0.0	34 19.9	12 7.0	9 5.3	0 0.0
	50歳代 N=162	82 50.6	8 4.9	0 0.0	0 0.0	17 10.5	0 0.0	37 22.8	12 7.4	5 3.1	1 0.6
	60歳代 N=339	57 16.8	24 7.1	1 0.3	1 0.3	60 17.7	0 0.0	70 20.6	118 34.8	6 1.8	2 0.6
	70歳代以上 N=395	6 1.5	17 4.3	8 2.0	1 0.3	71 18.0	0 0.0	20 5.1	255 64.6	14 3.5	3 0.8

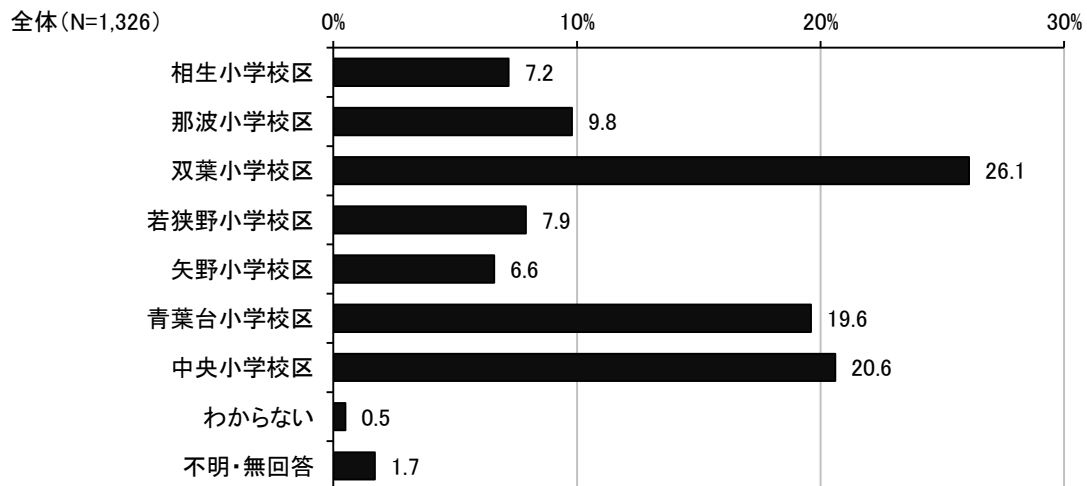
問5 あなたの現在のお勤め（学校）先は、次のどれにあてはまりますか。（1つに○）

「市内」が49.5%と最も高く、次いで「赤穂市・たつの市・宍粟市・佐用町・上郡町」が22.1%、「姫路市」が15.2%となっています。



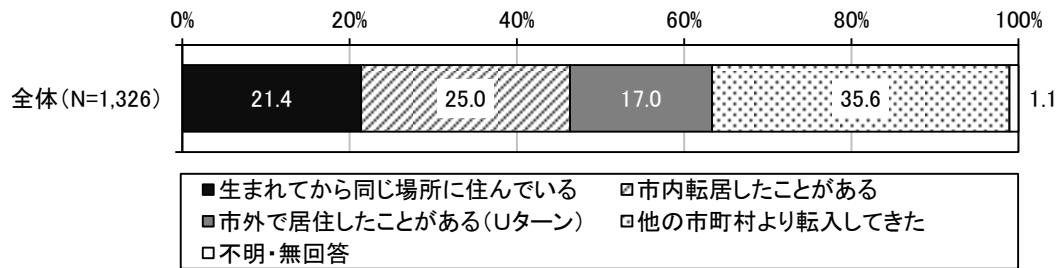
問6 あなたのお住まいの地区はどこですか。（1つに○）

「双葉小学校区」が26.1%と最も高く、次いで「中央小学校区」が20.6%、「青葉台小学校区」が19.6%となっています。



問7（1）あなたの相生市にお住まい状況は、次のどれにあてはまりますか。（1つに○）

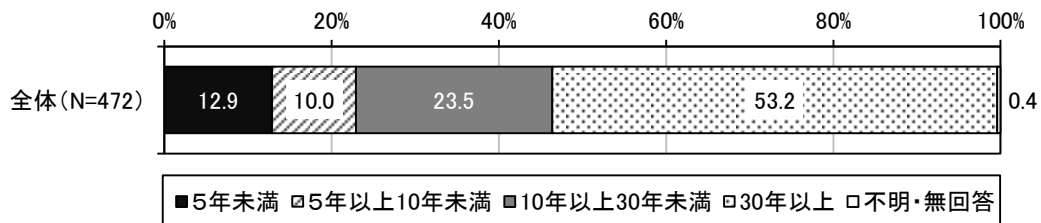
「他の市町村より転入してきた」が35.6%と最も高く、次いで「市内転居したことがある」が25.0%、「生まれてから同じ場所に住んでいる」が21.4%となっています。



問7（1）で「他の市町村より転入してきた」を選んだ方におうかがいします。

問7（2）転入からの居住年数は、通算で何年になりますか。（1つに○）

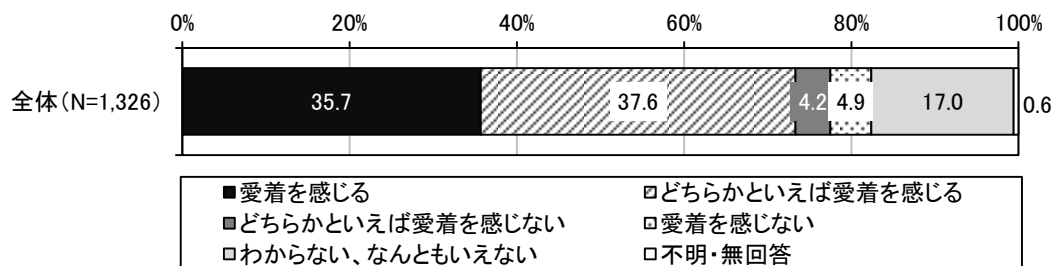
「30年以上」が53.2%と最も高く、次いで「10年以上30年未満」が23.5%、「5年未満」が12.9%となっています。



2 今後の暮らしについて

問8（1）あなたは相生市に愛着を感じていますか。（1つに○）

相生市に愛着を感じているかについて、「どちらかといえば愛着を感じる」が 37.6%と最も高く、次いで「愛着を感じる」が 35.7%、「わからない、なんともいえない」が 17.0%となっています。



■問8（1）× 性別

性別にみると、『男性』では「愛着を感じる」、『女性』では「どちらかといえば愛着を感じる」が多くなっています。

上段:件数 下段:%		愛着を感じる	どちらかとい えば愛着を 感じる	どちらかとい えば愛着を 感じない	愛着を 感じない	わからない、 なんとも いえない	不明・ 無回答
全体 N=1,326		474 35.7	498 37.6	56 4.2	65 4.9	225 17.0	8 0.6
性別	男性 N=592	218 36.8	214 36.1	24 4.1	35 5.9	101 17.1	0 0.0
	女性 N=722	252 34.9	283 39.2	32 4.4	29 4.0	124 17.2	2 0.3

■問8(1) × 年齢別

年齢別にみると、『10歳代』では「愛着を感じる」「どちらかといえば愛着を感じる」、『20歳代』『30歳代』『40歳代』『50歳代』『60歳代』では「どちらかといえば愛着を感じる」、『70歳代以上』では「愛着を感じる」が多くなっています。

上段:件数 下段:%	愛着を感じる	どちらか といえば愛着を 感じる	どちらか といえば愛着を 感じない	愛着を 感じない	わからない、 なんとも いえない	不明・ 無回答	
全体 N=1,326	474 35.7	498 37.6	56 4.2	65 4.9	225 17.0	8 0.6	
年齢別	10歳代 N=24	9 37.5	9 37.5	1 4.2	1 4.2	4 16.7	0 0.0
	20歳代 N=85	25 29.4	37 43.5	2 2.4	7 8.2	14 16.5	0 0.0
	30歳代 N=142	44 31.0	55 38.7	12 8.5	3 2.1	28 19.7	0 0.0
	40歳代 N=171	48 28.1	75 43.9	5 2.9	10 5.8	33 19.3	0 0.0
	50歳代 N=162	50 30.9	59 36.4	11 6.8	9 5.6	33 20.4	0 0.0
	60歳代 N=339	115 33.9	130 38.3	14 4.1	22 6.5	58 17.1	0 0.0
	70歳代以上 N=395	182 46.1	133 33.7	11 2.8	13 3.3	54 13.7	2 0.5

■問8(1) × 小学校区別

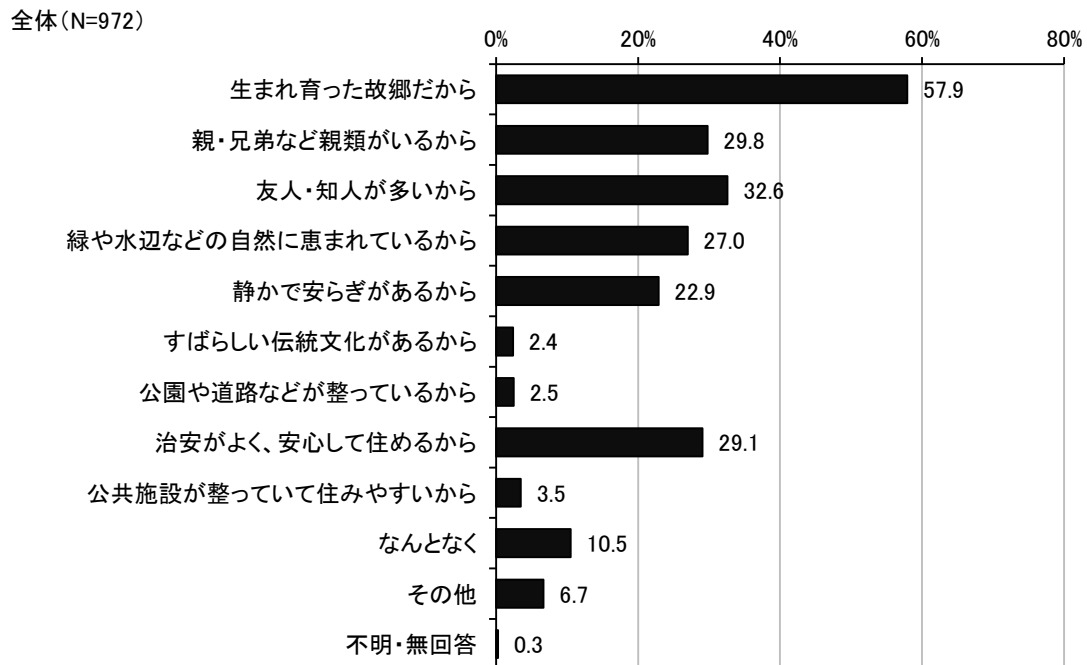
小学校区別にみると、『相生小学校区』『那波小学校区』『矢野小学校区』『青葉台小学校区』では「愛着を感じる」、『双葉小学校区』『若狭野小学校区』『中央小学校区』では「どちらかといえば愛着を感じる」が多くなっています。

上段:件数 下段:%	愛着を感じる	どちらか といえば愛着を 感じる	どちらか といえば愛着を 感じない	愛着を 感じない	わからない、 なんとも いえない	不明・ 無回答	
全体 N=1,326	474 35.7	498 37.6	56 4.2	65 4.9	225 17.0	8 0.6	
小学校区別	相生小学校区 N=95	43 45.3	30 31.6	5 5.3	5 5.3	12 12.6	0 0.0
	那波小学校区 N=130	54 41.5	44 33.8	8 6.2	7 5.4	16 12.3	1 0.8
	双葉小学校区 N=346	108 31.2	138 39.9	16 4.6	22 6.4	62 17.9	0 0.0
	若狭野小学校区 N=105	35 33.3	42 40.0	4 3.8	3 2.9	21 20.0	0 0.0
	矢野小学校区 N=88	33 37.5	29 33.0	4 4.5	7 8.0	15 17.0	0 0.0
	青葉台小学校区 N=260	107 41.2	98 37.7	10 3.8	7 2.7	38 14.6	0 0.0
	中央小学校区 N=273	89 32.6	111 40.7	8 2.9	12 4.4	52 19.0	1 0.4

問8(1)で「愛着を感じる」または「どちらかといえば愛着を感じる」を選んだ方におうかがいします。

問8(2) 愛着を感じる理由は何ですか。(3つまで)

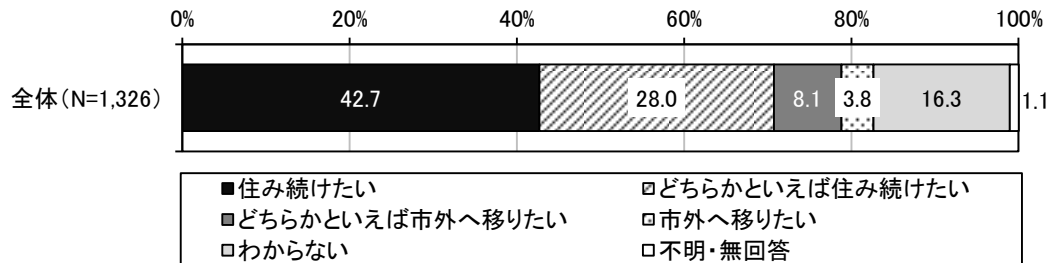
愛着を感じる理由について、「生まれ育った故郷だから」が57.9%と最も高く、次いで「友人・知人が多いから」が32.6%、「親・兄弟など親類がいるから」が29.8%となっています。



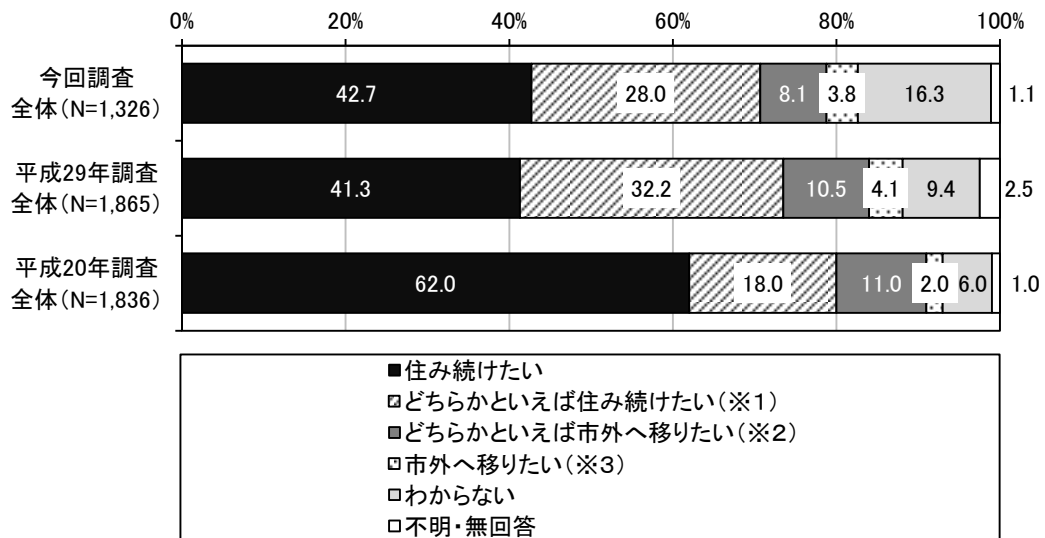
問9(1) あなたは相生市に住み続けたいと思いますか。(1つに〇)

相生市に住み続けたいかについて、「住み続けたい」が42.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が28.0%、「わからない」が16.3%となっています。

経年比較をみると、『住み続けたい(「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計)』は、平成20年調査、平成29年調査に比べ減少しています。



■過去調査との経年比較



平成20年調査の選択肢

- ※1…当分の間は住み続けたい
- ※2…機会があれば市外へ移りたい
- ※3…すぐにでも市外に移りたい

■問9(1) × 年齢別

年齢別にみると、『10歳代』では「わからない」、『20歳代』『30歳代』『40歳代』『50歳代』『60歳代』『70歳代以上』では「住み続けたい」が多くなっています。

上段:件数 下段:%	住み 続けたい	どちらか といえば住み 続けたい	どちらか といえば市外 へ移りたい	市外へ 移りたい	わからない	不明・ 無回答	
全体 N=1,326	566 42.7	371 28.0	108 8.1	51 3.8	216 16.3	14 1.1	
年齢別	10歳代 N=24	3 12.5	4 16.7	5 20.8	2 8.3	10 41.7	0 0.0
	20歳代 N=85	23 27.1	18 21.2	15 17.6	8 9.4	21 24.7	0 0.0
	30歳代 N=142	57 40.1	37 26.1	15 10.6	9 6.3	24 16.9	0 0.0
	40歳代 N=171	63 36.8	56 32.7	12 7.0	6 3.5	34 19.9	0 0.0
	50歳代 N=162	57 35.2	40 24.7	18 11.1	10 6.2	36 22.2	1 0.6
	60歳代 N=339	144 42.5	99 29.2	26 7.7	11 3.2	54 15.9	5 1.5
	70歳代以上 N=395	218 55.2	117 29.6	17 4.3	5 1.3	36 9.1	2 0.5

■問9(1) × 愛着度別

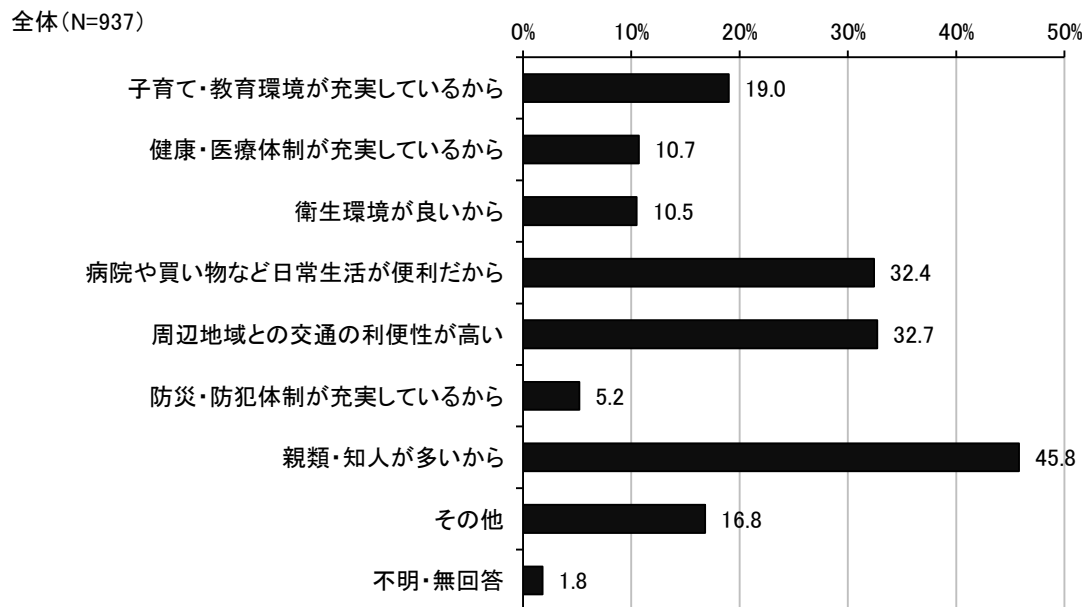
愛着度別にみると、『愛着を感じる』では「住み続けたい」、『どちらかといえば愛着を感じる』では「どちらかといえば住み続けたい」、『どちらかといえば愛着を感じない』では「どちらかといえば市外へ移りたい」、『愛着を感じない』では「市外へ移りたい」、『わからない、なんともいえない』では「わからない」が多くなっています。

上段:件数 下段:%	住み 続けたい	どちらか といえば住み 続けたい	どちらか といえば市外 へ移りたい	市外へ 移りたい	わからない	不明・ 無回答	
全体 N=1,326	566 42.7	371 28.0	108 8.1	51 3.8	216 16.3	14 1.1	
愛着度別	愛着を感じる N=474	360 75.9	78 16.5	6 1.3	3 0.6	26 5.5	1 0.2
	どちらかといえば愛着を感じる N=498	170 34.1	227 45.6	36 7.2	8 1.6	57 11.4	0 0.0
	どちらかといえば愛着を感じない N=56	2 3.6	12 21.4	20 35.7	6 10.7	16 28.6	0 0.0
	愛着を感じない N=65	3 4.6	5 7.7	14 21.5	24 36.9	19 29.2	0 0.0
	わからない、なんともいえない N=225	30 13.3	49 21.8	32 14.2	10 4.4	98 43.6	6 2.7

問9（1）で「住み続けたい」または「どちらかといえば住み続けたい」を選んだ方におうかがいします。

問9（2）住み続けたいと思う理由を教えてください。（3つまで○）

住み続けたいと思う理由について、「親類・知人が多いから」が45.8%と最も高く、次いで「周辺地域との交通の利便性が高い」が32.7%、「病院や買い物など日常生活が便利だから」が32.4%となっています。



■問9（2）× 年齢別

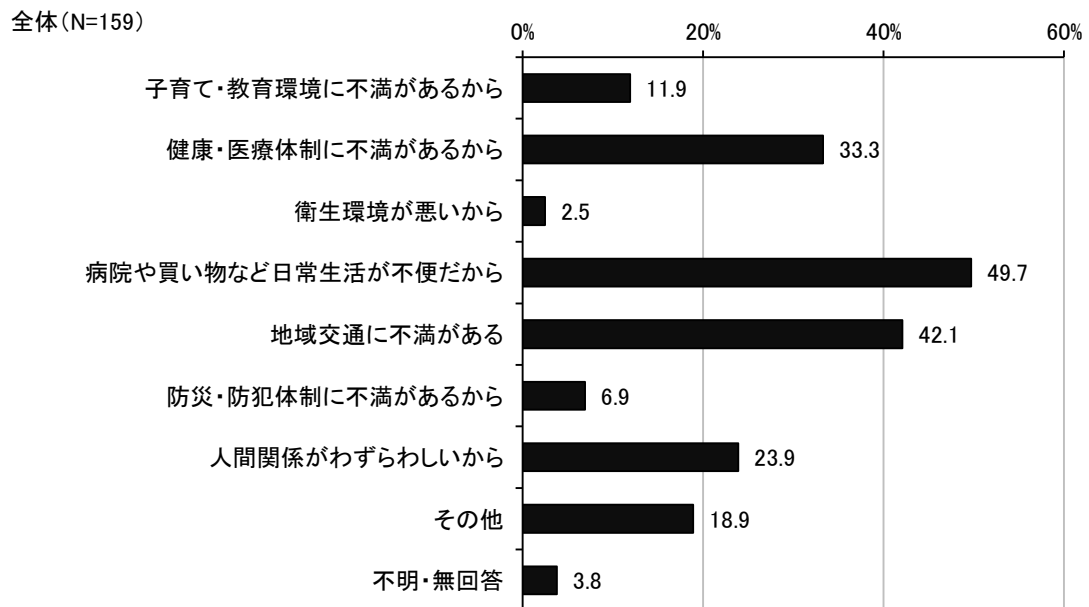
年齢別にみると、『10歳代』『30歳代』では「子育て・教育環境が充実しているから」、『20歳代』『40歳代』『50歳代』『60歳代』『70歳代以上』では「親類・知人が多いから」が多くなっています。

上段: 件数 下段: %	子育て・教育環境が充実しているから	健康・医療体制が充実しているから	衛生環境が良いから	病院や買い物など日常生活が便利だから	周辺地域との交通の利便性が高い	防災・防犯体制が充実しているから	親類・知人が多いから	その他	不明・無回答
全体 N=937	178 19.0	100 10.7	98 10.5	304 32.4	306 32.7	49 5.2	429 45.8	157 16.8	17 1.8
年齢別	10歳代 N=7	5 71.4	2 28.6	0 0.0	1 14.3	2 28.6	1 14.3	2 28.6	0 0.0
	20歳代 N=41	20 48.8	5 12.2	4 9.8	2 4.9	8 19.5	3 7.3	25 61.0	4 9.8
	30歳代 N=94	52 55.3	9 9.6	4 4.3	16 17.0	26 27.7	1 1.1	43 45.7	16 17.0
	40歳代 N=119	49 41.2	8 6.7	6 5.0	18 15.1	36 30.3	3 2.5	54 45.4	18 15.1
	50歳代 N=97	11 11.3	5 5.2	7 7.2	21 21.6	37 38.1	4 4.1	44 45.4	26 26.8
	60歳代 N=243	20 8.2	20 8.2	28 11.5	97 39.9	99 40.7	12 4.9	105 43.2	41 16.9
	70歳代以上 N=335	21 6.3	50 14.9	49 14.6	148 44.2	98 29.3	25 7.5	156 46.6	52 15.5

問9（1）で「どちらかといえば市外へ移りたい」または「市外へ移りたい」を選んだ方におうかがいします。

問9（3）市外へ移りたいと思う理由を教えてください。（3つまで○）

市外へ移りたいと思う理由について、「病院や買い物など日常生活が不便だから」が49.7%と最も高く、次いで「地域交通に不満がある」が42.1%、「健康・医療体制に不満があるから」が33.3%となっています。



■問9(3) × 年齢別

年齢別にみると、『10歳代』『20歳代』『30歳代』『40歳代』『50歳代』では「病院や買い物など日常生活が不便だから」、『60歳代』『70歳代以上』では「地域交通に不満がある」が多くなっています。

上段:件数 下段:%	子育て・教育環境に不満があるから	健康・医療体制に不満があるから	衛生環境が悪いから	病院や買い物など日常生活が不便だから	地域交通に不満がある	防災・防犯体制に不満があるから	人間関係がわずらわしいから	その他	不明・無回答	
全体 N=159	19 11.9	53 33.3	4 2.5	79 49.7	67 42.1	11 6.9	38 23.9	30 18.9	6 3.8	
年齢別	10歳代 N=7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	5 71.4	2 28.6	0 0.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3
	20歳代 N=23	4 17.4	2 8.7	0 0.0	13 56.5	9 39.1	1 4.3	4 17.4	7 30.4	0 0.0
	30歳代 N=24	5 20.8	8 33.3	0 0.0	14 58.3	7 29.2	3 12.5	2 8.3	5 20.8	2 8.3
	40歳代 N=18	2 11.1	5 27.8	1 5.6	12 66.7	6 33.3	1 5.6	5 27.8	4 22.2	0 0.0
	50歳代 N=28	2 7.1	13 46.4	0 0.0	16 57.1	15 53.6	1 3.6	7 25.0	4 14.3	0 0.0
	60歳代 N=37	4 10.8	15 40.5	1 2.7	13 35.1	16 43.2	4 10.8	12 32.4	6 16.2	3 8.1
	70歳代以上 N=22	1 4.5	10 45.5	2 9.1	6 27.3	12 54.5	1 4.5	7 31.8	3 13.6	0 0.0

■問9(3) × 小学校区別

小学校区別にみると、『相生小学校区』『若狭野小学校区』では「地域交通に不満がある」、『那波小学校区』『双葉小学校区』『矢野小学校区』『青葉台小学校区』『中央小学校区』では「病院や買い物など日常生活が不便だから」が多くなっています。

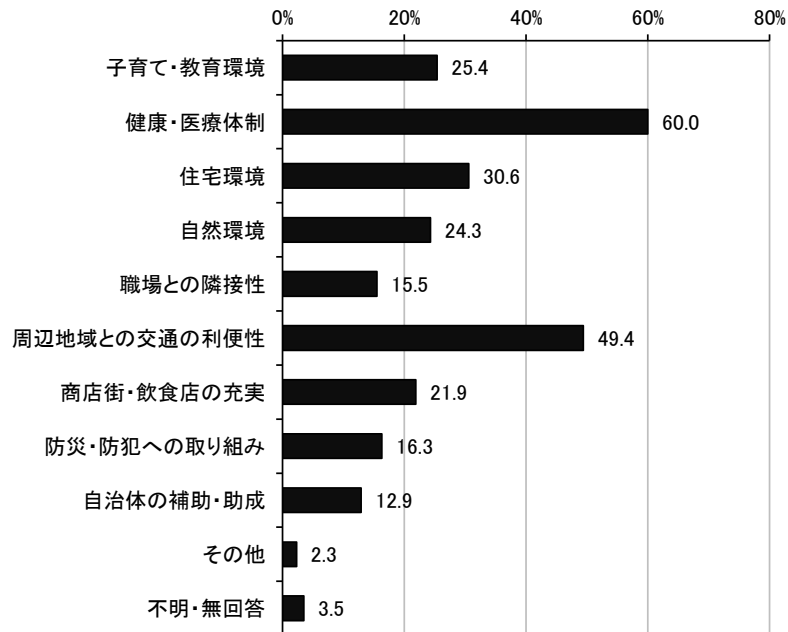
上段:件数 下段:%	子育て・教育環境に不満があるから	健康・医療体制に不満があるから	衛生環境が悪いから	病院や買い物など日常生活が不便だから	地域交通に不満がある	防災・防犯体制に不満があるから	人間関係がわずらわしいから	その他	不明・無回答	
全体 N=159	19 11.9	53 33.3	4 2.5	79 49.7	67 42.1	11 6.9	38 23.9	30 18.9	6 3.8	
小学校区別	相生小学校区 N=10	1 10.0	0 0.0	0 0.0	4 40.0	5 50.0	2 20.0	3 30.0	2 20.0	0 0.0
	那波小学校区 N=11	2 18.2	4 36.4	0 0.0	7 63.6	4 36.4	1 9.1	1 9.1	0 0.0	0 0.0
	双葉小学校区 N=49	6 12.2	21 42.9	2 4.1	22 44.9	15 30.6	2 4.1	12 24.5	12 24.5	4 8.2
	若狭野小学校区 N=16	2 12.5	6 37.5	1 6.3	7 43.8	13 81.3	1 6.3	4 25.0	2 12.5	0 0.0
	矢野小学校区 N=17	1 5.9	3 17.6	0 0.0	11 64.7	9 52.9	0 0.0	5 29.4	4 23.5	0 0.0
	青葉台小学校区 N=27	5 18.5	9 33.3	0 0.0	11 40.7	9 33.3	3 11.1	5 18.5	4 14.8	2 7.4
	中央小学校区 N=27	2 7.4	9 33.3	1 3.7	17 63.0	12 44.4	1 3.7	7 25.9	5 18.5	0 0.0

問 10 あなたが定住先を検討するうえで重要だと感じるものは何ですか。(3つまで〇)

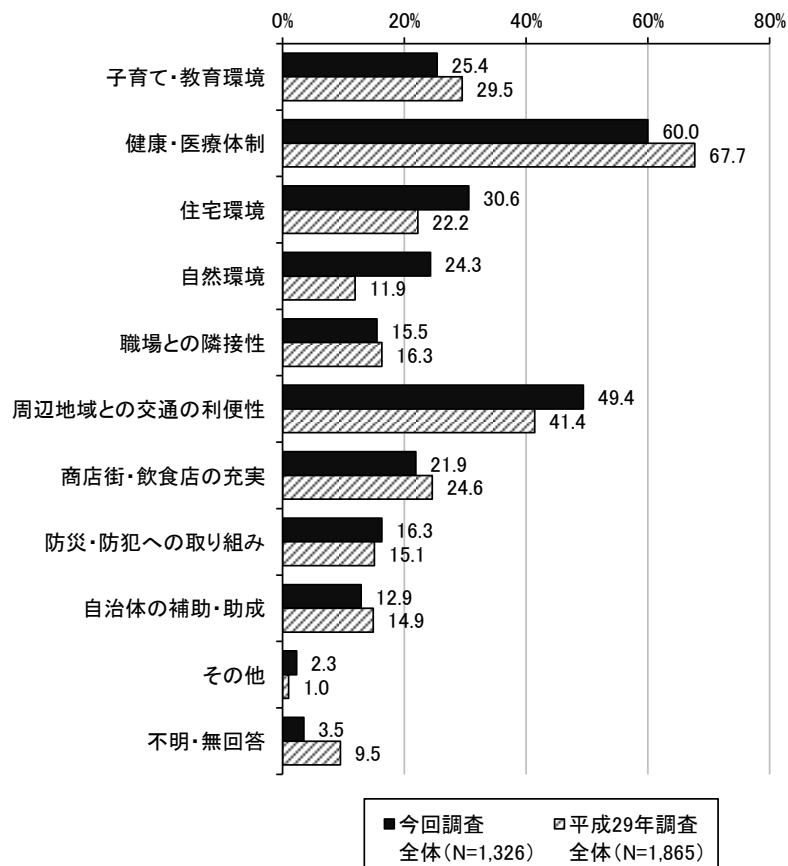
定住先を検討するうえで重要だと感じるものについて、「健康・医療体制」が60.0%と最も高く、次いで「周辺地域との交通の利便性」が49.4%、「住宅環境」が30.6%となっています。

経年比較をみると、今回調査、平成29年調査ともに「健康・医療体制」が最も高く、次いで「周辺地域との交通の利便性」となっています。

全体(N=1,326)



■過去調査との経年比較



■問 10 × 年齢別

年齢別にみると、『10 歳代』『20 歳代』では「周辺地域との交通の利便性」、『30 歳代』では「子育て・教育環境」、『40 歳代』『50 歳代』『60 歳代』『70 歳代以上』では「健康・医療体制」が多くなっています。

上段:件数 下段:%	子育て・ 教育環境	健康・ 医療体制	住宅環境	自然環境	職場との 隣接性	周辺地域 との交通 の利便性	商店街・ 飲食店の 充実	防災・防犯 への 取り組み	自治体の 補助・助成	その他	不明・ 無回答	
全体 N=1,326	337 25.4	796 60.0	406 30.6	322 24.3	205 15.5	655 49.4	291 21.9	216 16.3	171 12.9	31 2.3	47 3.5	
年齢別	10歳代 N=24	8 33.3	8 33.3	8 33.3	3 12.5	11 45.8	13 54.2	8 33.3	3 12.5	3 12.5	0 0.0	0 0.0
	20歳代 N=85	38 44.7	28 32.9	28 32.9	9 10.6	34 40.0	47 55.3	18 21.2	14 16.5	8 9.4	4 4.7	1 1.2
	30歳代 N=142	89 62.7	59 41.5	52 36.6	28 19.7	44 31.0	56 39.4	28 19.7	7 4.9	21 14.8	4 2.8	0 0.0
	40歳代 N=171	74 43.3	100 58.5	59 34.5	37 21.6	39 22.8	74 43.3	42 24.6	25 14.6	23 13.5	5 2.9	1 0.6
	50歳代 N=162	24 14.8	114 70.4	56 34.6	35 21.6	29 17.9	97 59.9	37 22.8	24 14.8	13 8.0	5 3.1	2 1.2
	60歳代 N=339	53 15.6	241 71.1	92 27.1	93 27.4	30 8.8	177 52.2	85 25.1	66 19.5	46 13.6	7 2.1	11 3.2
	70歳代以上 N=395	51 12.9	245 62.0	110 27.8	117 29.6	18 4.6	191 48.4	73 18.5	77 19.5	57 14.4	6 1.5	25 6.3

3 相生市のまちづくりについて

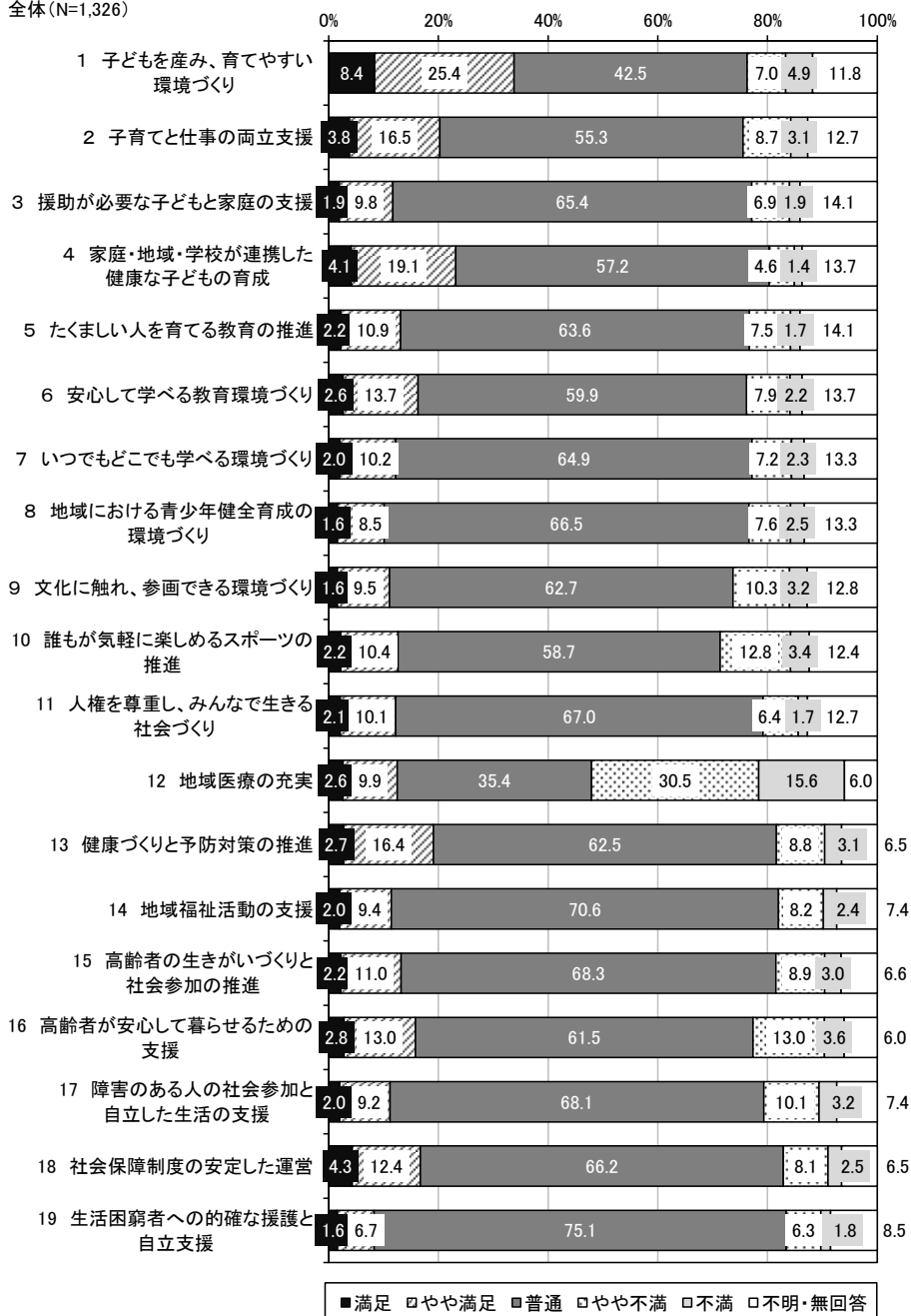
問 11 相生市では、現在、様々な施策・事業に取り組んでいます。これらについて、どの程度満足していますか。また、今後どの程度重要だと思えますか。(1から45の取り組みごとに、満足度・重要度それぞれ1つに○)

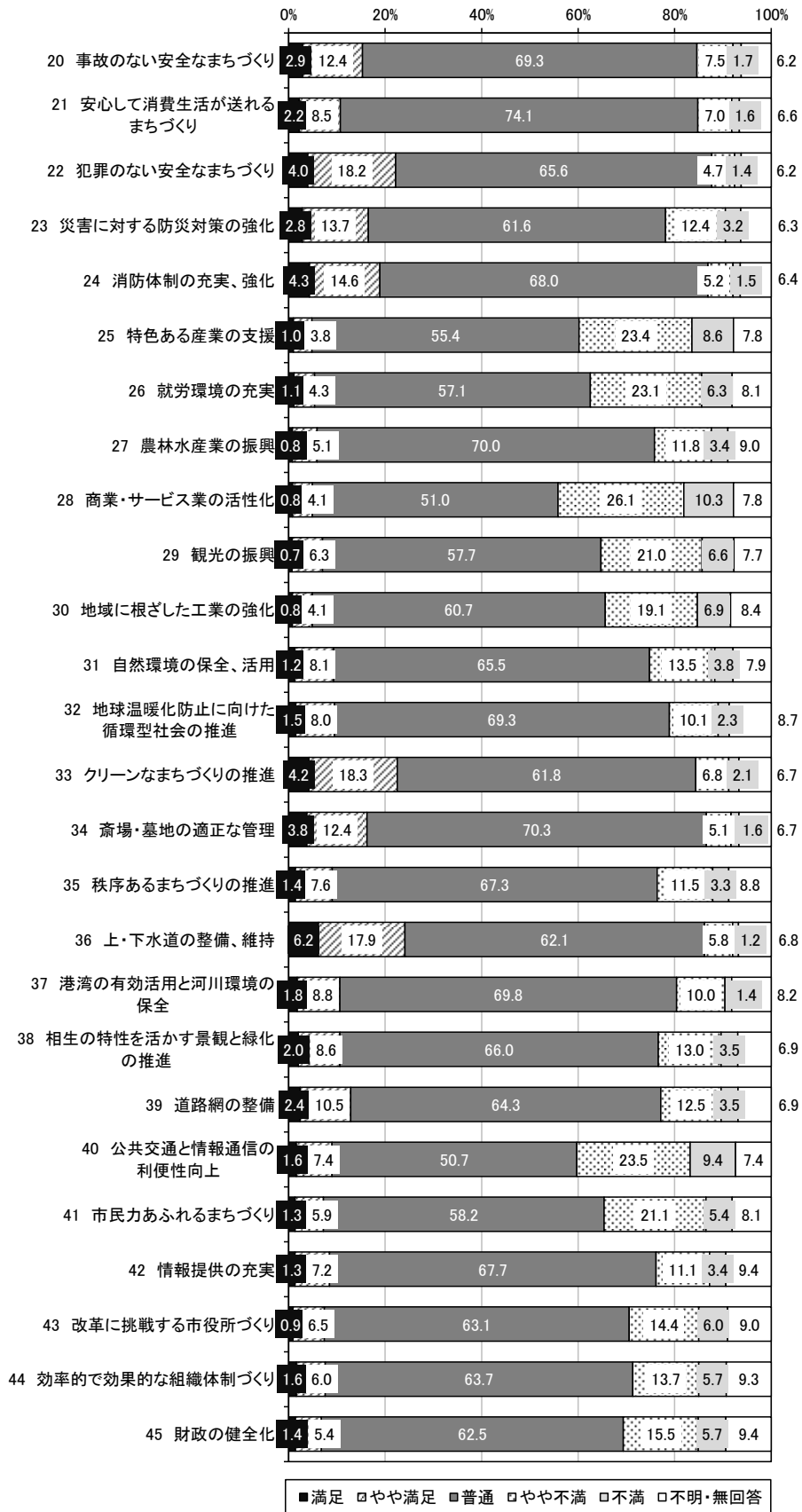
現状の満足度について、『満足(「満足」と「やや満足」の合計)』は、〔1 子どもを産み、育てやすい環境づくり〕が33.8%と最も高く、次いで〔36 上・下水道の整備、維持〕が24.1%、〔4 家庭・地域・学校が連携した健康な子どもの育成〕が23.2%となっています。

一方、『不満(「やや不満」と「不満」の合計)』は、〔12 地域医療の充実〕が46.1%と最も高く、次いで〔28 商業・サービス業の活性化〕が36.4%、〔40 公共交通と情報通信の利便性向上〕が32.9%となっています。

<現状の満足度>

全体(N=1,326)

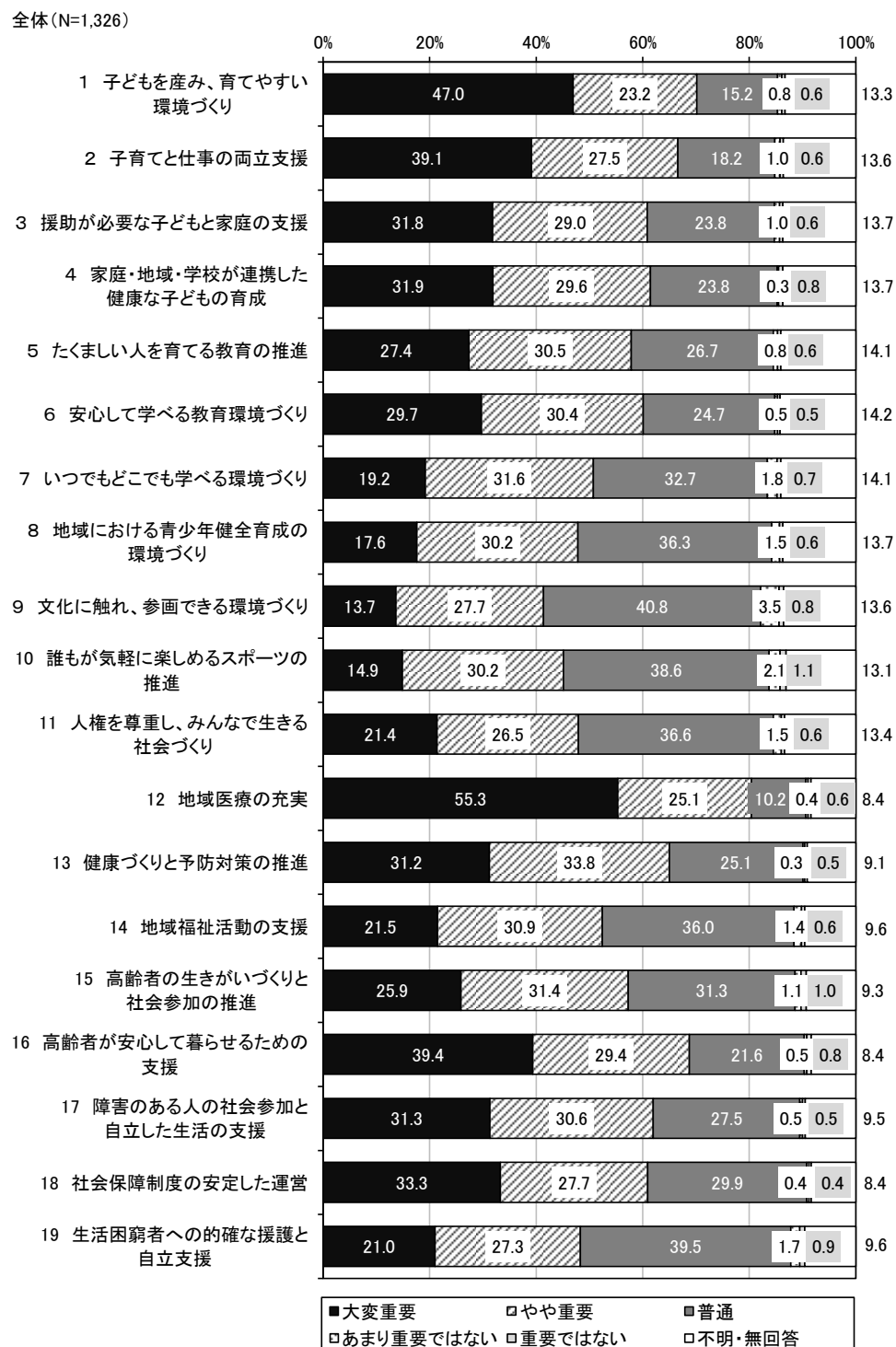


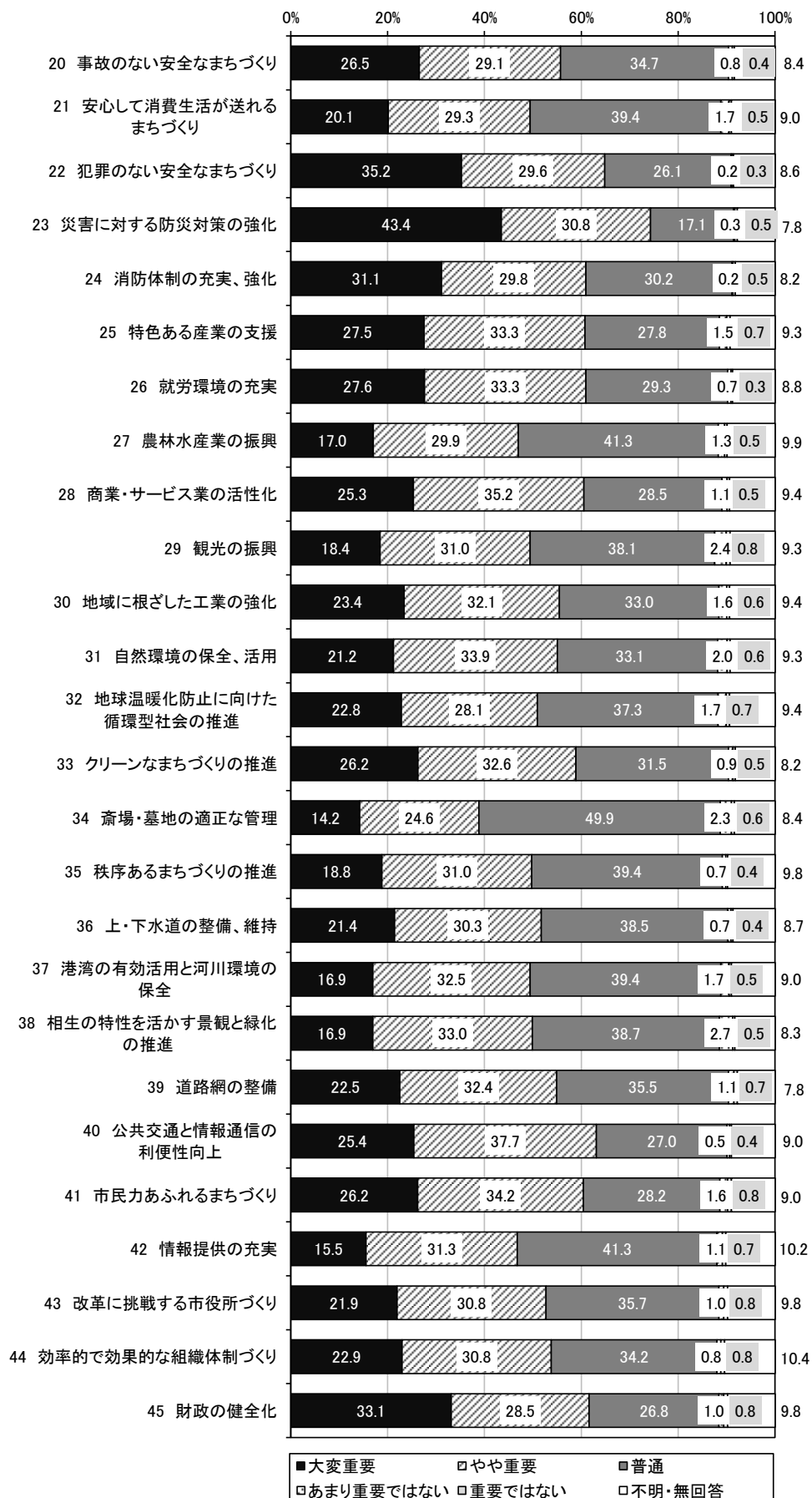


今後の重要度について、『重要（「大変重要」と「やや重要」の合計）』は、〔12 地域医療の充実〕が80.4%と最も高く、次いで〔23 災害に対する防災対策の強化〕が74.2%、〔1 子どもを産み、育てやすい環境づくり〕が70.2%となっています。

一方、『重要ではない（「あまり重要ではない」と「重要ではない」の合計）』は、すべての項目で5.0%未満となっています。

<今後の重要度>





■満足度・重要度平均値

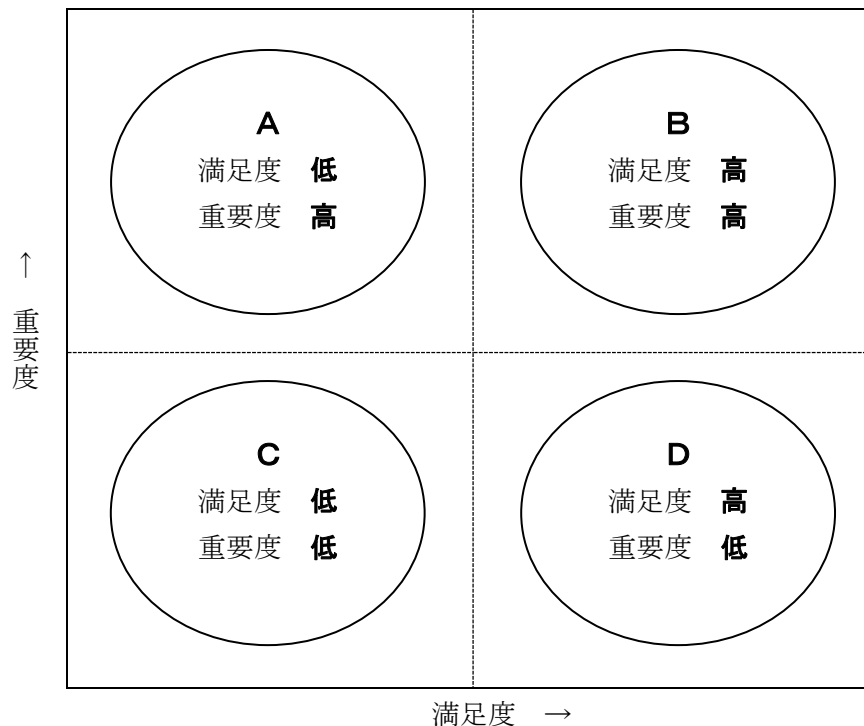
満足度について、「満足」＝5点、「やや満足」＝4点、「普通」＝3点、「やや不満」＝2点、「不満」＝1点、重要度について、「重要」＝5点、「やや重要」＝4点、「普通」＝3点、「あまり重要ではない」＝2点、「重要ではない」＝1点として点数化を行い、不明・無回答を除く件数で除したものを平均としました。

項目	満足度	重要度
1 子どもを産み、育てやすい環境づくり	3.29	4.33
2 子育てと仕事の両立支援	3.11	4.20
3 援助が必要な子どもと家庭の支援	3.03	4.05
4 家庭・地域・学校が連携した健康な子どもの育成	3.23	4.06
5 たくましい人を育てる教育の推進	3.05	3.97
6 安心して学べる教育環境づくり	3.08	4.03
7 いつでもどこでも学べる環境づくり	3.03	3.78
8 地域における青少年健全育成の環境づくり	2.99	3.73
9 文化に触れ、参画できる環境づくり	2.96	3.58
10 誰もが気軽に楽しめるスポーツの推進	2.94	3.64
11 人権を尊重し、みんなで生きる社会づくり	3.05	3.77
12 地域医療の充実	2.50	4.46
13 健康づくりと予防対策の推進	3.07	4.05
14 地域福祉活動の支援	3.00	3.79
15 高齢者の生きがいづくりと社会参加の推進	3.00	3.88
16 高齢者が安心して暮らせるための支援	2.98	4.16
17 障害のある人の社会参加と自立した生活の支援	2.97	4.01
18 社会保障制度の安定した運営	3.09	4.02
19 生活困窮者への的確な援護と自立支援	3.00	3.73
20 事故のない安全なまちづくり	3.08	3.88
21 安心して消費生活が送れるまちづくり	3.03	3.73
22 犯罪のない安全なまちづくり	3.20	4.09
23 災害に対する防災対策の強化	3.01	4.26
24 消防体制の充実、強化	3.16	3.99
25 特色ある産業の支援	2.62	3.94
26 就労環境の充実	2.68	3.96
27 農林水産業の振興	2.87	3.68
28 商業・サービス業の活性化	2.56	3.92
29 観光の振興	2.71	3.70
30 地域に根ざした工業の強化	2.70	3.84
31 自然環境の保全、活用	2.88	3.81
32 地球温暖化防止に向けた循環型社会の推進	2.96	3.78
33 クリーンなまちづくりの推進	3.17	3.91
34 斎場・墓地の適正な管理	3.13	3.54
35 秩序あるまちづくりの推進	2.91	3.74
36 上・下水道の整備、維持	3.24	3.79
37 港湾の有効活用と河川環境の保全	3.00	3.70
38 相生の特性を活かす景観と緑化の推進	2.92	3.69
39 道路網の整備	2.96	3.81
40 公共交通と情報通信の利便性向上	2.66	3.96
41 市民力あふれるまちづくり	2.74	3.92
42 情報提供の充実	2.91	3.66
43 改革に挑戦する市役所づくり	2.80	3.80
44 効率的で効果的な組織体制づくり	2.82	3.83
45 財政の健全化	2.79	4.02
全体平均	2.95	3.89

■結果散布図

問 11 の項目の満足度および重要度について、下図の 4 つの領域に分類し、整理を行いました。

<結果の分類>



領域	説明
A	重要度が高いにも関わらず、満足度が低く、優先して充実が求められている項目
B	満足度も重要度も高いため、継続して充実する必要がある項目
C	満足度は低いものの重要度も低いため、他の項目の優先順位を勘案しながら、満足度を向上していくべき項目
D	満足度は高く、重要度が低いため、今後場合によっては満足度の低い他の項目へ優先順位をシフトしていくことを検討する必要がある項目

※上記の領域については、あくまで問 11 の項目の中の相対的な位置関係を示すために便宜上設定した分類であるため、A～Dは絶対的な区分ではありません。

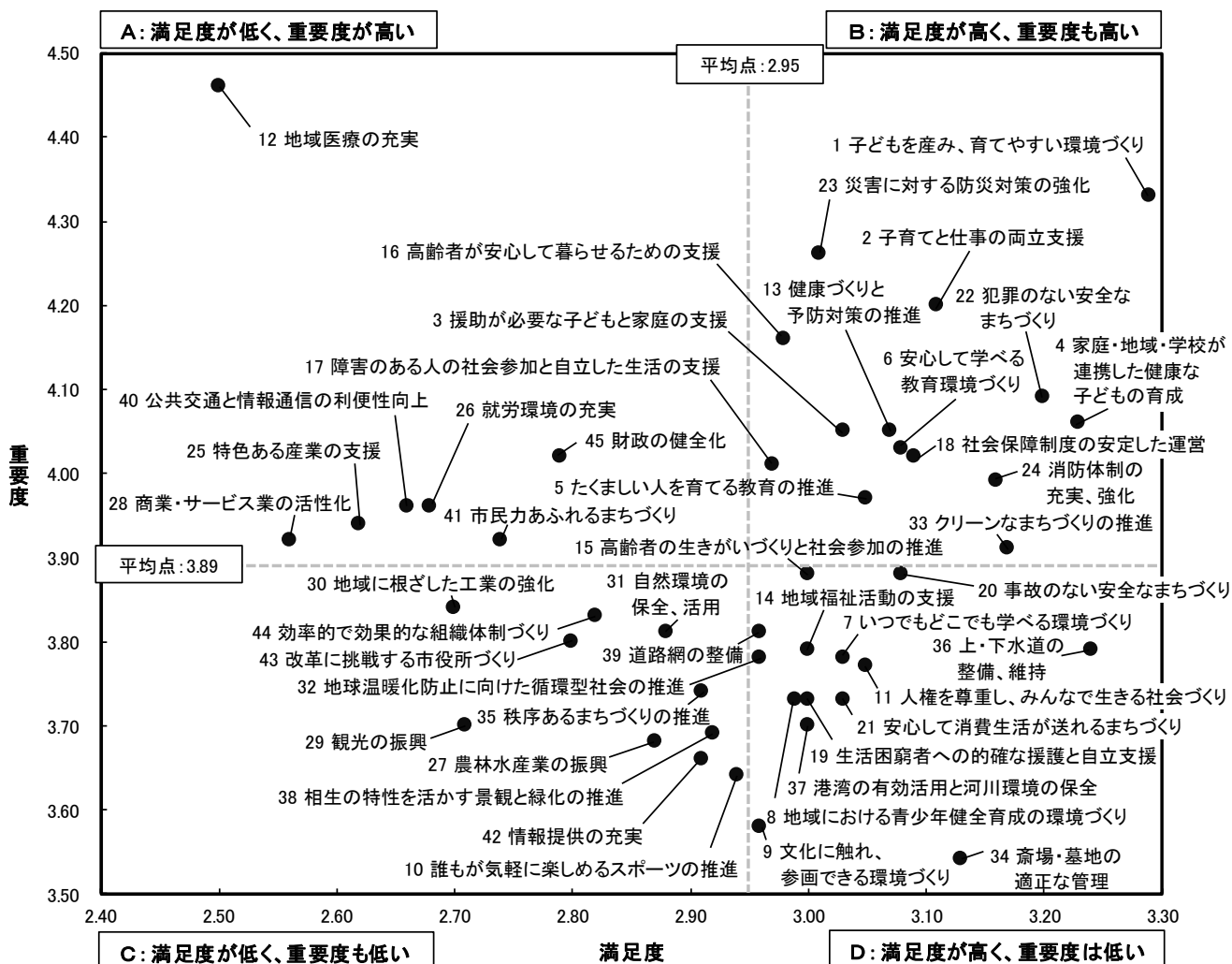
■満足度・重要度の散布図

重要度が高いものの、満足度は低いAの領域では、〔12 地域医療の充実〕〔40 公共交通と情報通信の利便性向上〕といった医療や公共交通サービスに関する項目が挙がっています。また、〔25 特色ある産業の支援〕〔26 就労環境の充実〕〔28 商業・サービス業の活性化〕といった産業に関する項目が挙がっています。さらに、〔41 市民力あふれるまちづくり〕〔45 財政の健全化〕といったまちづくりや行政に関する項目も挙がっています。

満足度も重要度も高いBの領域では、〔1 子どもを産み、育てやすい環境づくり〕〔2 子育てと仕事の両立支援〕〔6 安心して学べる教育環境づくり〕など子育て・教育に関する項目や、〔13 健康づくりと予防対策の推進〕〔16 高齢者が安心して暮らせるための支援〕など健康・福祉に関する項目が挙がっています。また、〔22 犯罪のない安全なまちづくり〕〔23 災害に対する防災対策の強化〕など防犯・防災に関する項目も挙がっています。

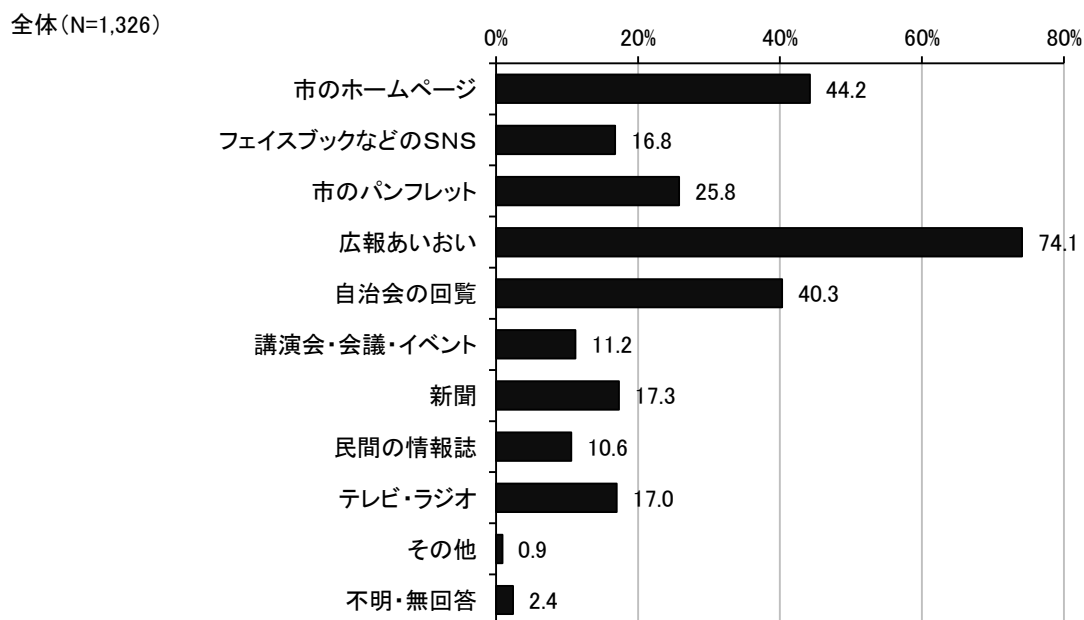
満足度は低いものの重要度も低いCの領域では、〔27 農林水産業の振興〕〔29 観光の振興〕〔30 地域に根ざした工業の強化〕など産業に関する項目や、〔35 秩序あるまちづくりの推進〕〔38 相生の特性を活かす景観と緑化の推進〕など都市整備に関する項目、〔43 改革に挑戦する市役所づくり〕〔44 効率的で効果的な組織体制づくり〕など行政力に関する項目が挙がっています。

満足度は高く、重要度が低いDの領域では、〔7 いつでもどこでも学べる環境づくり〕〔9 文化に触れ、参画できる環境づくり〕など生涯学習に関する項目や、〔36 上・下水道の整備、維持〕〔39 道路網の整備〕など都市整備に関する項目等が挙がっています。



問 12 あなたは、相生市から情報発信する場合の最適な方法は次のどれだと思いますか。
(3つまで)

相生市から情報発信する場合の最適な方法について、「広報あいおい」が 74.1%と最も高く、次いで「市のホームページ」が 44.2%、「自治会の回覧」が 40.3%となっています。



■問 12 × 年齢別

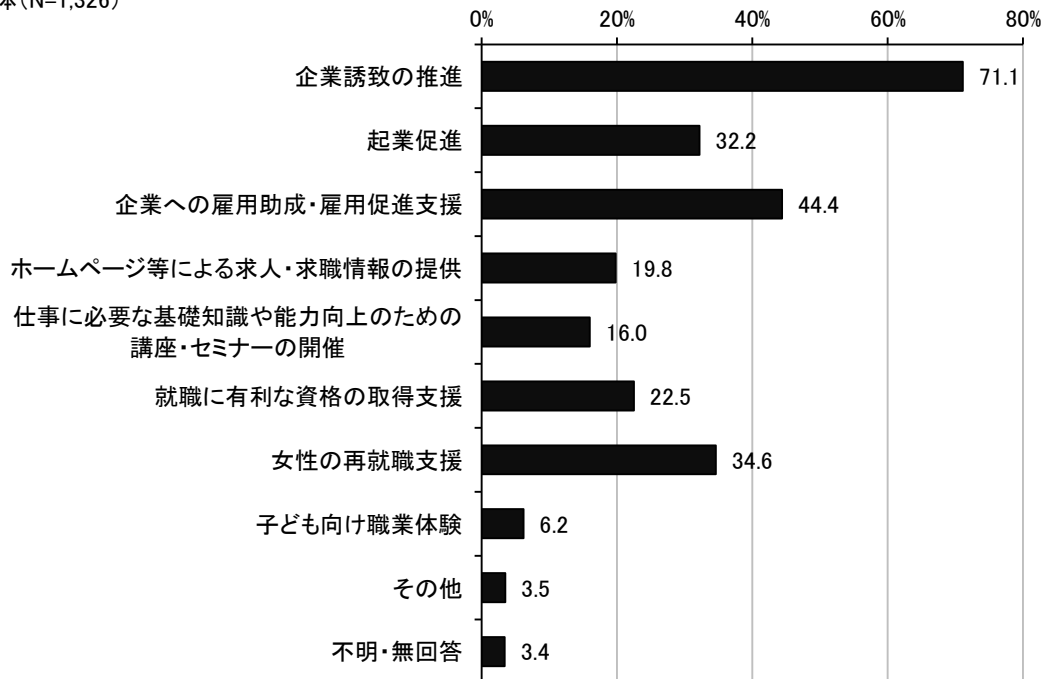
年齢別にみると、『10 歳代』では「フェイスブックなどのSNS」、「20 歳代」「30 歳代」「40 歳代」「50 歳代」「60 歳代」「70 歳代以上」では「広報あいおい」が多くなっています。

上段:件数 下段:%	市のホームページ	フェイスブックなどのSNS	市のパンフレット	広報あいおい	自治会の回覧	講演会・会議・イベント	新聞	民間の情報誌	テレビ・ラジオ	その他	不明・無回答	
全体 N=1,326	586 44.2	223 16.8	342 25.8	982 74.1	534 40.3	149 11.2	230 17.3	140 10.6	225 17.0	12 0.9	32 2.4	
年齢別	10歳代 N=24	12 50.0	18 75.0	2 8.3	11 45.8	5 20.8	1 4.2	4 16.7	2 8.3	7 29.2	3 12.5	0 0.0
	20歳代 N=85	49 57.6	34 40.0	16 18.8	51 60.0	15 17.6	7 8.2	16 18.8	8 9.4	20 23.5	0 0.0	1 1.2
	30歳代 N=142	81 57.0	44 31.0	28 19.7	100 70.4	39 27.5	13 9.2	20 14.1	17 12.0	23 16.2	1 0.7	2 1.4
	40歳代 N=171	100 58.5	40 23.4	24 14.0	124 72.5	49 28.7	20 11.7	27 15.8	14 8.2	40 23.4	1 0.6	2 1.2
	50歳代 N=162	79 48.8	37 22.8	28 17.3	101 62.3	51 31.5	24 14.8	30 18.5	21 13.0	38 23.5	0 0.0	7 4.3
	60歳代 N=339	132 38.9	28 8.3	109 32.2	273 80.5	168 49.6	47 13.9	54 15.9	37 10.9	47 13.9	3 0.9	5 1.5
	70歳代以上 N=395	131 33.2	22 5.6	133 33.7	318 80.5	204 51.6	37 9.4	79 20.0	39 9.9	50 12.7	4 1.0	12 3.0

問 13 あなたは、相生市で働く人を増やすため、市は、どのような取り組みを強化すべきだと思いますか。(3つまで○)

相生市で働く人を増やすために、市が強化すべき取り組みについて、「企業誘致の推進」が71.1%と最も高く、次いで「企業への雇用助成・雇用促進支援」が44.4%、「女性の再就職支援」が34.6%となっています。

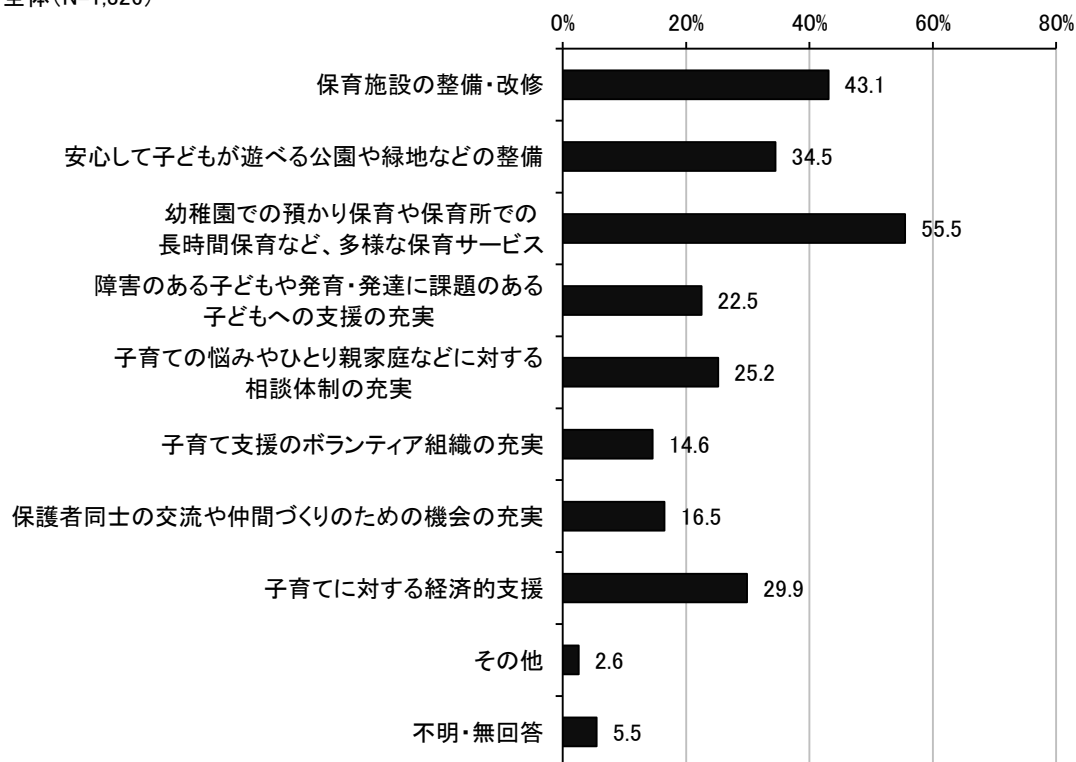
全体(N=1,326)



問 14 あなたは、相生市の「子育て支援の充実」のために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(3つまで○)

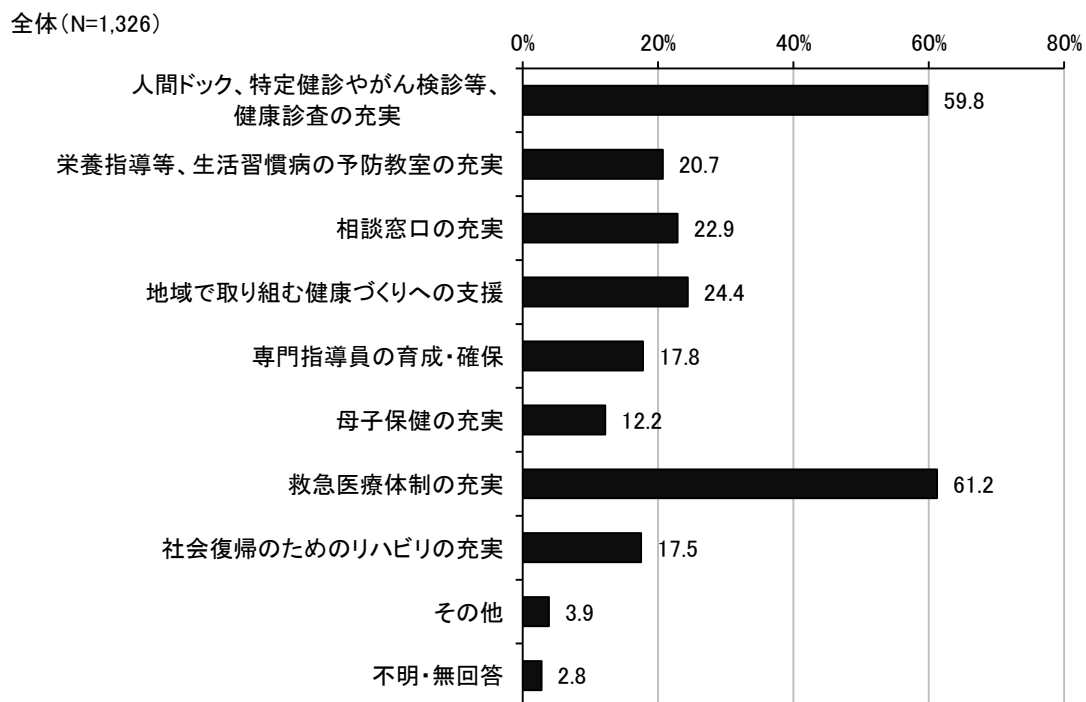
「子育て支援の充実」のために力を入れるべきことについて、「幼稚園での預かり保育や保育所での長時間保育など、多様な保育サービス」が55.5%と最も高く、次いで「保育施設の整備・改修」が43.1%、「安心して子どもが遊べる公園や緑地などの整備」が34.5%となっています。

全体(N=1,326)



問 15 あなたは、相生市の「健康・医療体制の充実」のために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで○）

「健康・医療体制の充実」のために力を入れるべきことについて、「救急医療体制の充実」が 61.2%と最も高く、次いで「人間ドック、特定健診やがん検診等、健康診査の充実」が 59.8%、「地域で取り組む健康づくりへの支援」が 24.4%となっています。



■問 15 × 年齢別

年齢別にみると、『10歳代』『40歳代』『50歳代』『70歳代以上』では「救急医療体制の充実」、『20歳代』『30歳代』『60歳代』では「人間ドック、特定健診やがん検診等、健康診査の充実」が多くなっています。

上段:件数 下段:%	人間ドック、 特定健診や がん検診 等、健康診 査の充実	栄養指導 等、生活習 慣病の予防 教室の充実	相談窓口の 充実	地域で取り 組む健康づ くりへの支援	専門指導員 の育成・ 確保	母子保健の 充実	救急医療 体制の充実	社会復帰の ためのリハ ビリの充実	その他	不明・ 無回答
全体 N=1,326	793 59.8	275 20.7	304 22.9	323 24.4	236 17.8	162 12.2	812 61.2	232 17.5	52 3.9	37 2.8
年 齢 別	10歳代 N=24	16 66.7	5 20.8	2 8.3	8 33.3	4 16.7	3 12.5	17 70.8	4 16.7	0 0.0
	20歳代 N=85	59 69.4	18 21.2	12 14.1	19 22.4	8 9.4	20 23.5	50 58.8	15 17.6	5 5.9
	30歳代 N=142	95 66.9	25 17.6	29 20.4	18 12.7	18 12.7	46 32.4	84 59.2	16 11.3	10 7.0
	40歳代 N=171	103 60.2	21 12.3	29 17.0	26 15.2	39 22.8	19 11.1	119 69.6	25 14.6	14 8.2
	50歳代 N=162	105 64.8	27 16.7	35 21.6	32 19.8	22 13.6	20 12.3	106 65.4	29 17.9	8 4.9
	60歳代 N=339	205 60.5	76 22.4	92 27.1	85 25.1	61 18.0	31 9.1	203 59.9	59 17.4	9 2.7
	70歳代以上 N=395	209 52.9	101 25.6	105 26.6	134 33.9	82 20.8	22 5.6	230 58.2	81 20.5	6 1.5

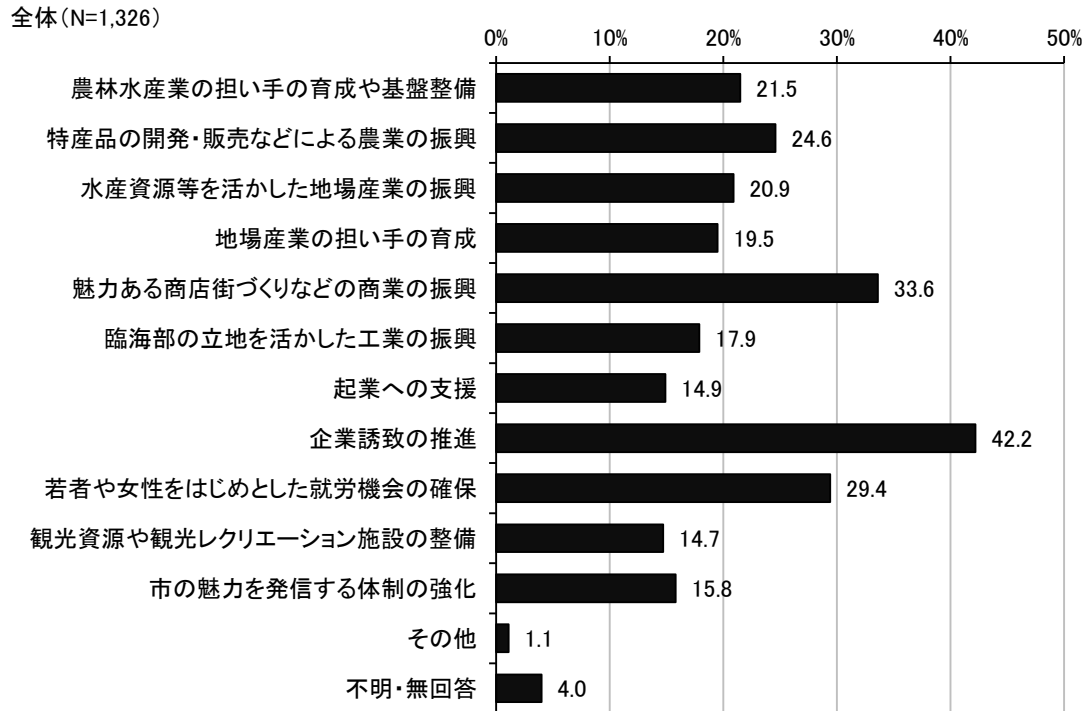
■問 15 × 小学校区別

小学校区別にみると、『相生小学校区』『那波小学校区』『双葉小学校区』『若狭野小学校区』では「救急医療体制の充実」、『矢野小学校区』『青葉台小学校区』では「人間ドック、特定健診やがん検診等、健康診査の充実」、『中央小学校区』では「人間ドック、特定健診やがん検診等、健康診査の充実」「救急医療体制の充実」が多くなっています。

上段:件数 下段:%	人間ドック、 特定健診や がん検診 等、健康診 査の充実	栄養指導 等、生活習 慣病の予防 教室の充実	相談窓口の 充実	地域で取り 組む健康づ くりへの支援	専門指導員 の育成・ 確保	母子保健の 充実	救急医療 体制の充実	社会復帰の ためのリハ ビリの充実	その他	不明・ 無回答
全体 N=1,326	793 59.8	275 20.7	304 22.9	323 24.4	236 17.8	162 12.2	812 61.2	232 17.5	52 3.9	37 2.8
小 学 校 区 別	相生小学校区 N=95	51 53.7	20 21.1	19 20.0	26 27.4	12 12.6	8 8.4	64 67.4	20 21.1	3 3.2
	那波小学校区 N=130	81 62.3	23 17.7	33 25.4	36 27.7	18 13.8	16 12.3	86 66.2	13 10.0	11 8.5
	双葉小学校区 N=346	204 59.0	66 19.1	90 26.0	77 22.3	77 22.3	47 13.6	207 59.8	61 17.6	14 4.0
	若狭野小学校区 N=105	63 60.0	16 15.2	25 23.8	21 20.0	19 18.1	12 11.4	68 64.8	19 18.1	3 2.9
	矢野小学校区 N=88	55 62.5	20 22.7	19 21.6	28 31.8	9 10.2	7 8.0	52 59.1	14 15.9	0 0.0
	青葉台小学校区 N=260	156 60.0	57 21.9	67 25.8	72 27.7	42 16.2	24 9.2	154 59.2	50 19.2	11 4.2
	中央小学校区 N=273	168 61.5	69 25.3	47 17.2	57 20.9	50 18.3	45 16.5	168 61.5	46 16.8	9 3.3

問 16 あなたは、相生市の「産業の活性化」のために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(3つまで○)

「産業の活性化」のために力を入れるべきことについて、「企業誘致の推進」が 42.2%と最も高く、次いで「魅力ある商店街づくりなどの商業の振興」が 33.6%、「若者や女性をはじめとした就労機会の確保」が 29.4%となっています。



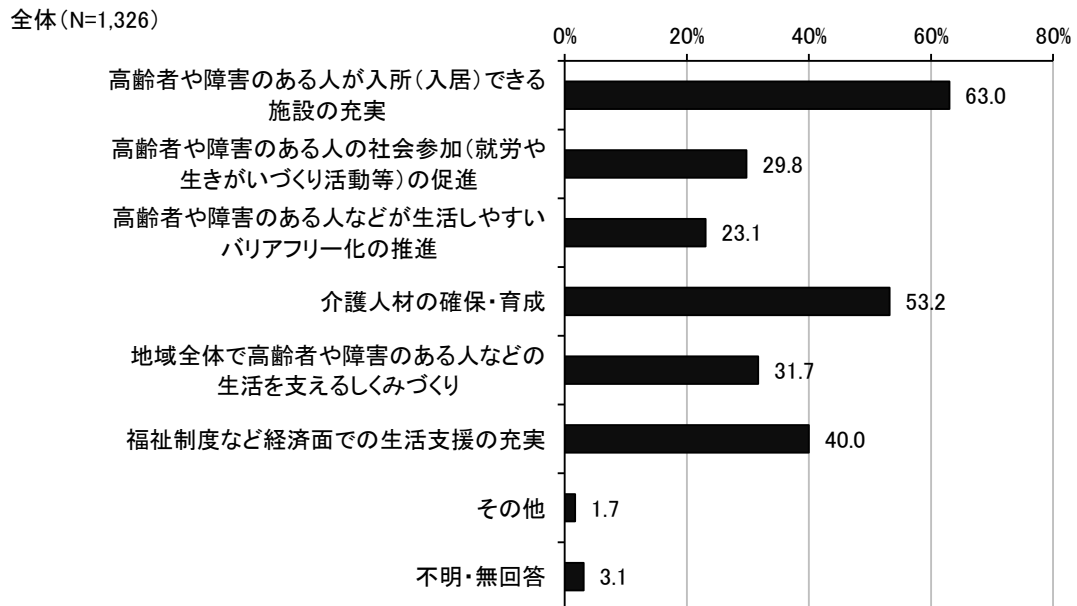
■問 16 × 年齢別

年齢別にみると、『10 歳代』『30 歳代』では「魅力ある商店街づくりなどの商業の振興」、『20 歳代』では「若者や女性をはじめとした就労機会の確保」、『40 歳代』『50 歳代』『60 歳代』『70 歳代以上』では「企業誘致の推進」が多くなっています。

上段:件数 下段:%	農林水産業 の担い手の 育成や基盤 整備	特産品の開 発・販売など による農業 の振興	水産資源等 を活かした 地場産業の 振興	地場産業の 担い手の 育成	魅力ある商 店街づくりな どの商業の 振興	臨海部の 立地を活か した工業の 振興	起業への 支援	
全体 N=1,326	285 21.5	326 24.6	277 20.9	259 19.5	446 33.6	238 17.9	197 14.9	
年 齢 別	10歳代 N=24	3 12.5	7 29.2	2 8.3	1 4.2	12 50.0	5 20.8	4 16.7
	20歳代 N=85	16 18.8	21 24.7	14 16.5	15 17.6	31 36.5	11 12.9	15 17.6
	30歳代 N=142	26 18.3	43 30.3	28 19.7	26 18.3	61 43.0	16 11.3	21 14.8
	40歳代 N=171	27 15.8	45 26.3	35 20.5	28 16.4	57 33.3	30 17.5	29 17.0
	50歳代 N=162	35 21.6	33 20.4	32 19.8	27 16.7	56 34.6	37 22.8	21 13.0
	60歳代 N=339	79 23.3	76 22.4	70 20.6	77 22.7	101 29.8	54 15.9	52 15.3
	70歳代以上 N=395	97 24.6	100 25.3	95 24.1	84 21.3	125 31.6	85 21.5	53 13.4
上段:件数 下段:%	企業誘致の 推進	若者や女性 をはじめとし た就労機会 の確保	観光資源や 観光レクリ エーション 施設の整備	市の魅力を 発信する 体制の強化	その他	不明・ 無回答		
全体 N=1,326	559 42.2	390 29.4	195 14.7	210 15.8	15 1.1	53 4.0		
年 齢 別	10歳代 N=24	11 45.8	4 16.7	7 29.2	4 16.7	1 4.2	0 0.0	
	20歳代 N=85	31 36.5	32 37.6	14 16.5	17 20.0	2 2.4	1 1.2	
	30歳代 N=142	56 39.4	55 38.7	27 19.0	20 14.1	1 0.7	2 1.4	
	40歳代 N=171	73 42.7	53 31.0	28 16.4	21 12.3	2 1.2	5 2.9	
	50歳代 N=162	78 48.1	44 27.2	30 18.5	18 11.1	1 0.6	9 5.6	
	60歳代 N=339	149 44.0	96 28.3	47 13.9	64 18.9	4 1.2	12 3.5	
	70歳代以上 N=395	160 40.5	104 26.3	41 10.4	65 16.5	4 1.0	21 5.3	

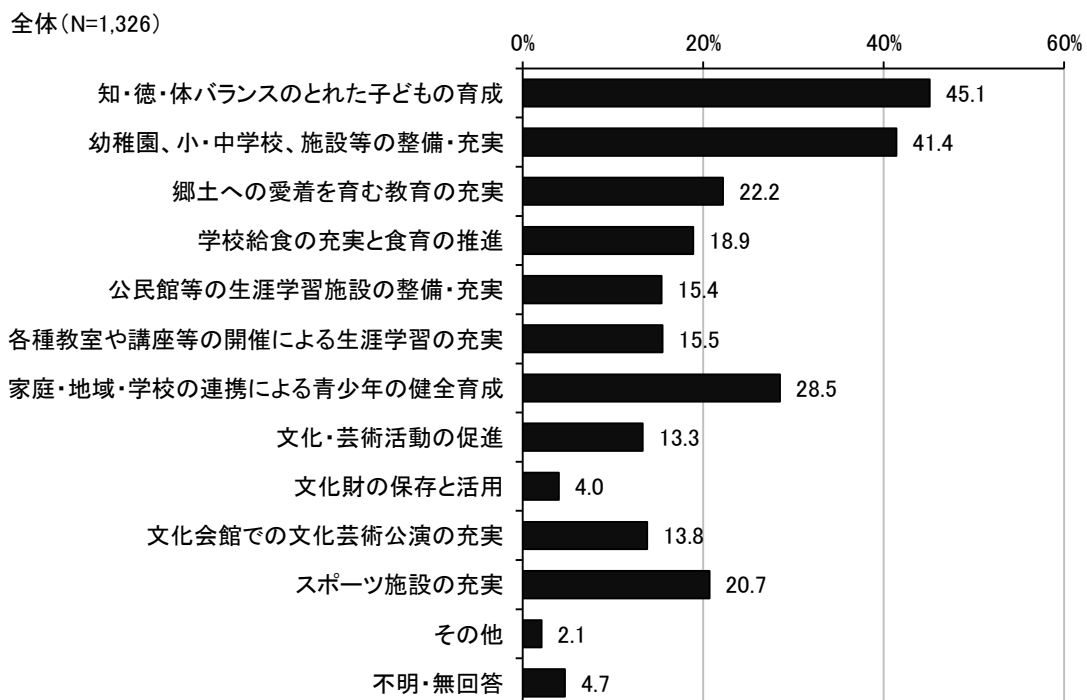
問 17 あなたは、相生市の「福祉の充実」のために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで○）

「福祉の充実」のために力を入れるべきことについて、「高齢者や障害のある人が入所（入居）できる施設の充実」が 63.0%と最も高く、次いで「介護人材の確保・育成」が 53.2%、「福祉制度など経済面での生活支援の充実」が 40.0%となっています。



問 18 あなたは、相生市の「教育・文化の振興」のために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで○）

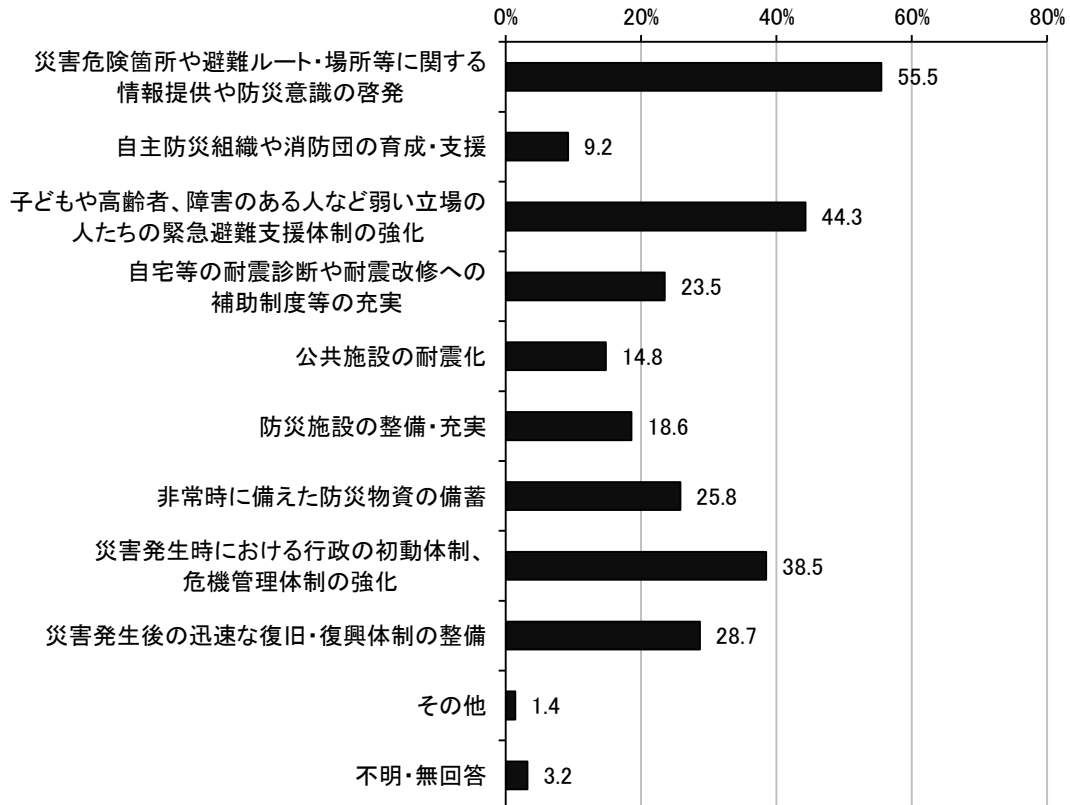
「教育・文化の振興」のために力を入れるべきことについて、「知・徳・体バランスのとれた子どもの育成」が 45.1%と最も高く、次いで「幼稚園、小・中学校、施設等の整備・充実」が 41.4%、「家庭・地域・学校の連携による青少年の健全育成」が 28.5%となっています。



問 19 あなたは、相生市の「防災体制の強化」のために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで○）

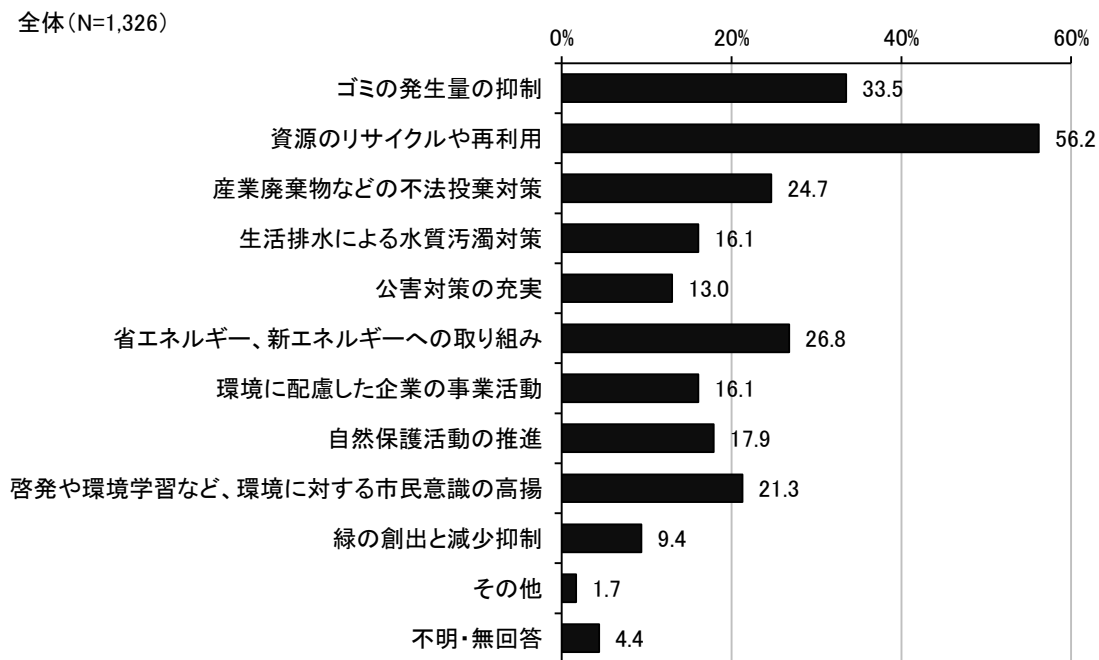
「防災体制の強化」のために力を入れるべきことについて、「災害危険箇所や避難ルート・場所等に関する情報提供や防災意識の啓発」が 55.5%と最も高く、次いで「子どもや高齢者、障害のある人など弱い立場の人たちの緊急避難支援体制の強化」が 44.3%、「災害発生時における行政の初動体制、危機管理体制の強化」が 38.5%となっています。

全体(N=1,326)



問 20 あなたは、相生市の「環境美化・保全」のために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(3つまで○)

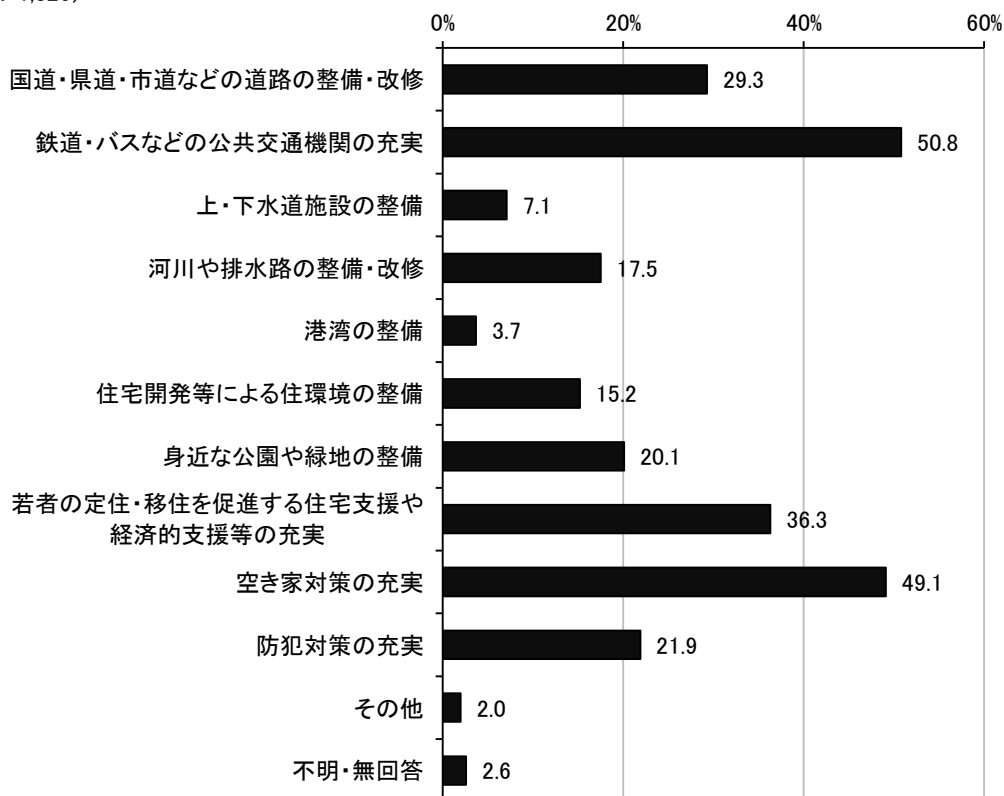
「環境美化・保全」のために力を入れるべきことについて、「資源のリサイクルや再利用」が56.2%と最も高く、次いで「ゴミの発生量の抑制」が33.5%、「省エネルギー、新エネルギーへの取り組み」が26.8%となっています。



問 21 あなたは、相生市の「交通・住環境の充実」のために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(3つまで○)

「交通・住環境の充実」のために力を入れるべきことについて、「鉄道・バスなどの公共交通機関の充実」が50.8%と最も高く、次いで「空き家対策の充実」が49.1%、「若者の定住・移住を促進する住宅支援や経済的支援等の充実」が36.3%となっています。

全体(N=1,326)



■問 21 × 年齢別

年齢別にみると、『10歳代』『20歳代』『40歳代』『50歳代』では「鉄道・バスなどの公共交通機関の充実」、『30歳代』では「若者の定住・移住を促進する住宅支援や経済的支援等の充実」、『60歳代』『70歳代以上』では「空き家対策の充実」が多くなっています。

上段: 件数 下段: %		国道・県道・市道などの道路の整備・改修	鉄道・バスなどの公共交通機関の充実	上・下水道施設の整備	河川や排水路の整備・改修	港湾の整備	住宅開発等による住環境の整備
全体 N=1,326		389 29.3	674 50.8	94 7.1	232 17.5	49 3.7	201 15.2
年齢別	10歳代 N=24	8 33.3	15 62.5	1 4.2	3 12.5	2 8.3	4 16.7
	20歳代 N=85	33 38.8	49 57.6	7 8.2	6 7.1	4 4.7	16 18.8
	30歳代 N=142	47 33.1	63 44.4	9 6.3	18 12.7	3 2.1	30 21.1
	40歳代 N=171	49 28.7	92 53.8	16 9.4	22 12.9	10 5.8	25 14.6
	50歳代 N=162	54 33.3	101 62.3	10 6.2	21 13.0	8 4.9	23 14.2
	60歳代 N=339	100 29.5	151 44.5	18 5.3	82 24.2	12 3.5	47 13.9
	70歳代以上 N=395	94 23.8	200 50.6	33 8.4	80 20.3	10 2.5	55 13.9
上段: 件数 下段: %		身近な公園や緑地の整備	若者の定住・移住を促進する住宅支援や経済的支援等の充実	空き家対策の充実	防犯対策の充実	その他	不明・無回答
全体 N=1,326		267 20.1	481 36.3	651 49.1	290 21.9	27 2.0	34 2.6
年齢別	10歳代 N=24	8 33.3	12 50.0	8 33.3	5 20.8	0 0.0	0 0.0
	20歳代 N=85	23 27.1	34 40.0	24 28.2	17 20.0	3 3.5	0 0.0
	30歳代 N=142	46 32.4	65 45.8	57 40.1	41 28.9	4 2.8	0 0.0
	40歳代 N=171	36 21.1	63 36.8	81 47.4	38 22.2	6 3.5	2 1.2
	50歳代 N=162	26 16.0	56 34.6	77 47.5	37 22.8	3 1.9	3 1.9
	60歳代 N=339	56 16.5	113 33.3	184 54.3	71 20.9	8 2.4	9 2.7
	70歳代以上 N=395	70 17.7	135 34.2	215 54.4	78 19.7	3 0.8	19 4.8

■問 21 × 小学校区別

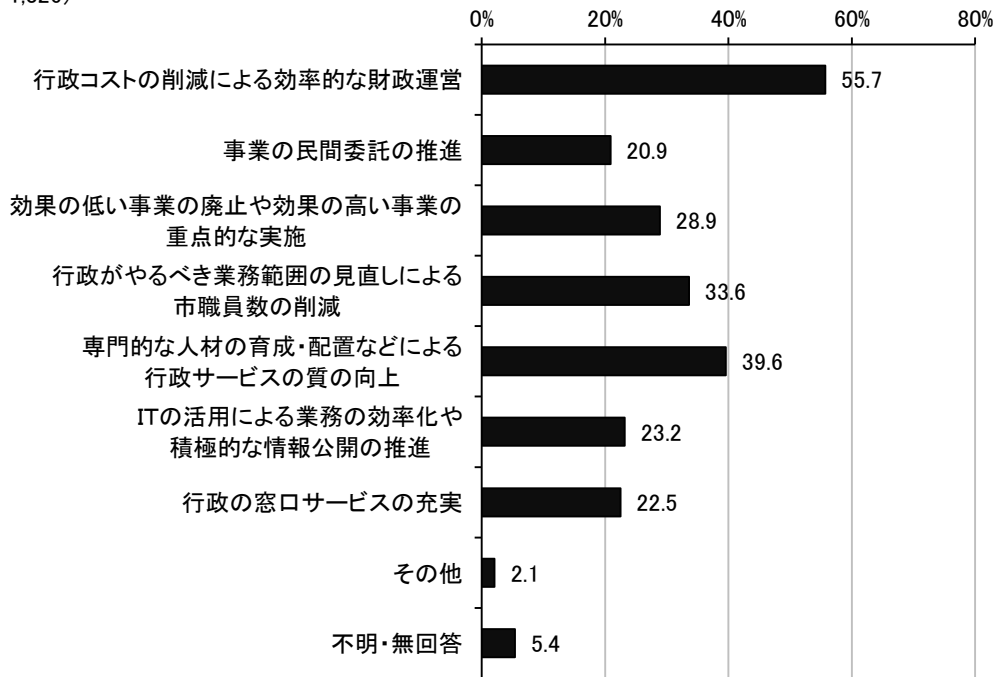
小学校区別にみると、『相生小学校区』『双葉小学校区』『中央小学校区』では「空き家対策の充実」、『那波小学校区』では「鉄道・バスなどの公共交通機関の充実」「空き家対策の充実」、『若狭野小学校区』『矢野小学校区』『青葉台小学校区』では「鉄道・バスなどの公共交通機関の充実」が多くなっています。

上段:件数 下段:%	国道・県道・ 市道などの 道路の整備・ 改修	鉄道・バス などの公共 交通機関の 充実	上・下水道 施設の整備	河川や 排水路の 整備・改修	港湾の 整備	住宅開発等 による住環境 の整備	
全体 N=1,326	389 29.3	674 50.8	94 7.1	232 17.5	49 3.7	201 15.2	
小学校区別	相生小学校区 N=95	29 30.5	54 56.8	4 4.2	11 11.6	6 6.3	14 14.7
	那波小学校区 N=130	30 23.1	55 42.3	10 7.7	31 23.8	9 6.9	22 16.9
	双葉小学校区 N=346	106 30.6	168 48.6	26 7.5	55 15.9	9 2.6	49 14.2
	若狭野小学校区 N=105	34 32.4	61 58.1	3 2.9	21 20.0	2 1.9	17 16.2
	矢野小学校区 N=88	30 34.1	50 56.8	9 10.2	19 21.6	1 1.1	13 14.8
	青葉台小学校区 N=260	77 29.6	138 53.1	16 6.2	51 19.6	7 2.7	40 15.4
	中央小学校区 N=273	77 28.2	136 49.8	21 7.7	38 13.9	14 5.1	42 15.4
	上段:件数 下段:%	身近な公園 や緑地の 整備	若者の定住・ 移住を促進 する住宅支 援や経済的 支援等の 充実	空き家対策 の充実	防犯対策 の充実	その他	不明・ 無回答
全体 N=1,326	267 20.1	481 36.3	651 49.1	290 21.9	27 2.0	34 2.6	
小学校区別	相生小学校区 N=95	20 21.1	32 33.7	55 57.9	20 21.1	1 1.1	3 3.2
	那波小学校区 N=130	34 26.2	48 36.9	55 42.3	32 24.6	2 1.5	3 2.3
	双葉小学校区 N=346	67 19.4	124 35.8	177 51.2	81 23.4	9 2.6	6 1.7
	若狭野小学校区 N=105	14 13.3	43 41.0	47 44.8	22 21.0	0 0.0	3 2.9
	矢野小学校区 N=88	6 6.8	31 35.2	48 54.5	14 15.9	1 1.1	2 2.3
	青葉台小学校区 N=260	54 20.8	88 33.8	120 46.2	59 22.7	7 2.7	6 2.3
	中央小学校区 N=273	67 24.5	102 37.4	137 50.2	52 19.0	6 2.2	10 3.7

問 22 あなたは、相生市の「健全な行財政運営」のために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(3つまで○)

「健全な行財政運営」のために力を入れるべきことについて、「行政コストの削減による効率的な財政運営」が 55.7%と最も高く、次いで「専門的な人材の育成・配置などによる行政サービスの質の向上」が 39.6%、「行政がやるべき業務範囲の見直しによる市職員数の削減」が 33.6%となっています。

全体(N=1,326)



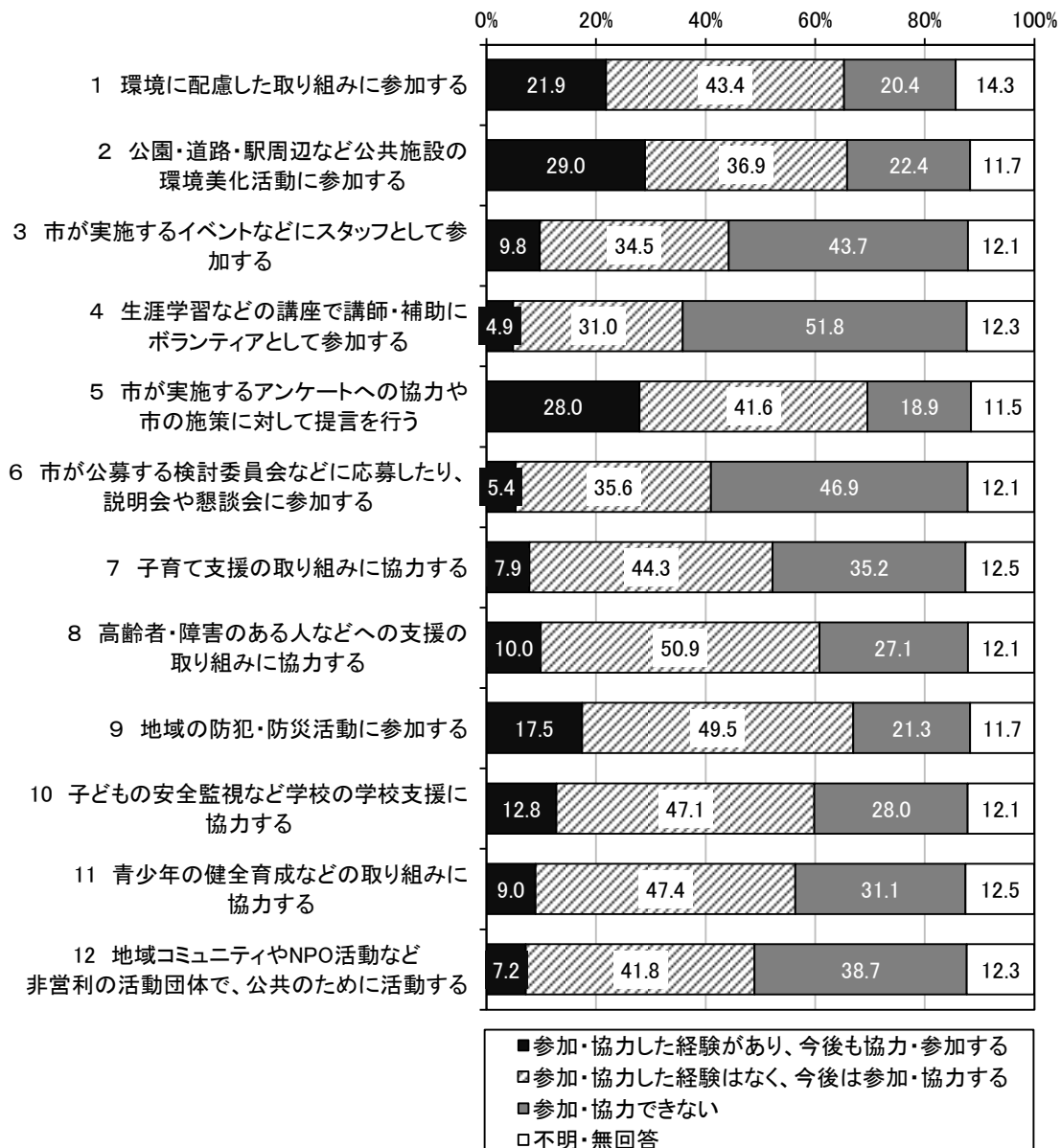
問 23 あなたは行政との協働事業に参加していますか。(事業ごとに、1つに○)

行政との協働事業について、「参加・協力した経験があり、今後も協力・参加する」は、〔2 公園・道路・駅周辺など公共施設の環境美化活動に参加する〕が29.0%と最も高く、次いで〔5 市が実施するアンケートへの協力や市の施策に対して提言を行う〕が28.0%、〔1 環境に配慮した取り組みに参加する〕が21.9%となっています。

「参加・協力した経験はなく、今後は参加・協力する」は、〔8 高齢者・障害のある人などへの支援の取り組みに協力する〕が50.9%と最も高く、次いで〔9 地域の防犯・防災活動に参加する〕が49.5%、〔11 青少年の健全育成などの取り組みに協力する〕が47.4%となっています。

「参加・協力できない」は、〔4 生涯学習などの講座で講師・補助にボランティアとして参加する〕が51.8%と最も高く、次いで〔6 市が公募する検討委員会などに応募したり、説明会や懇談会に参加する〕が46.9%、〔3 市が実施するイベントなどにスタッフとして参加する〕が43.7%となっています。

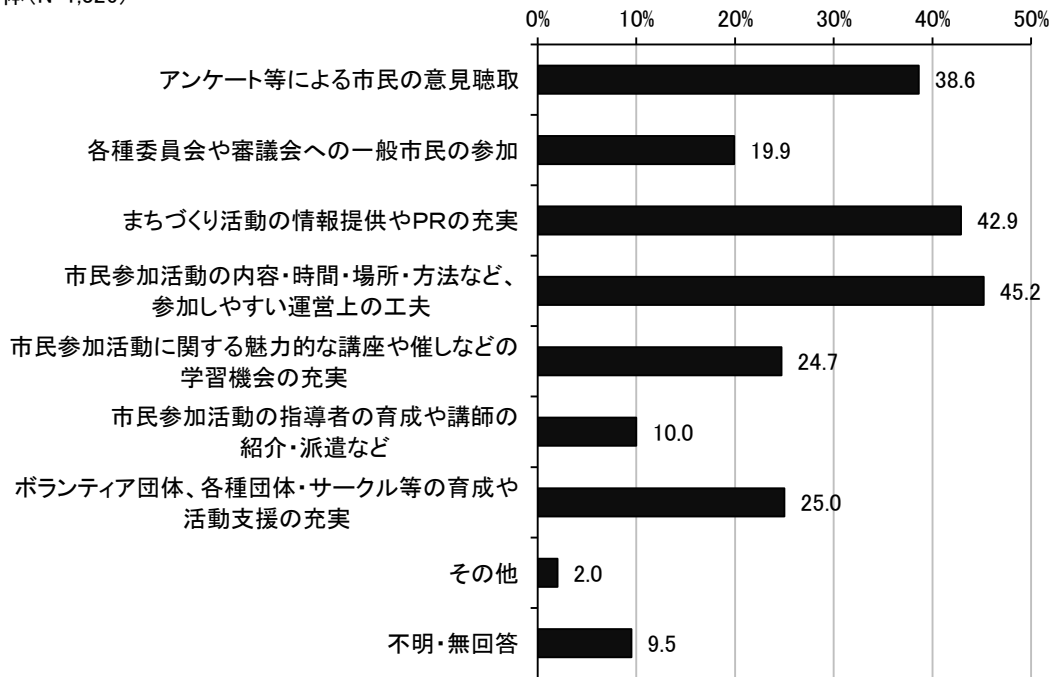
全体(N=1,326)



問 24 あなたは、今後、市民のまちづくりへの参画を図る上で、市は、どのような取り組みを強化すべきだと思いますか。（3つまで○）

市民のまちづくりへの参画を図る上で、市が強化すべき取り組みについて、「市民参加活動の内容・時間・場所・方法など、参加しやすい運営上の工夫」が45.2%と最も高く、次いで「まちづくり活動の情報提供やPRの充実」が42.9%、「アンケート等による市民の意見聴取」が38.6%となっています。

全体(N=1,326)



■問 24 × 年齢別

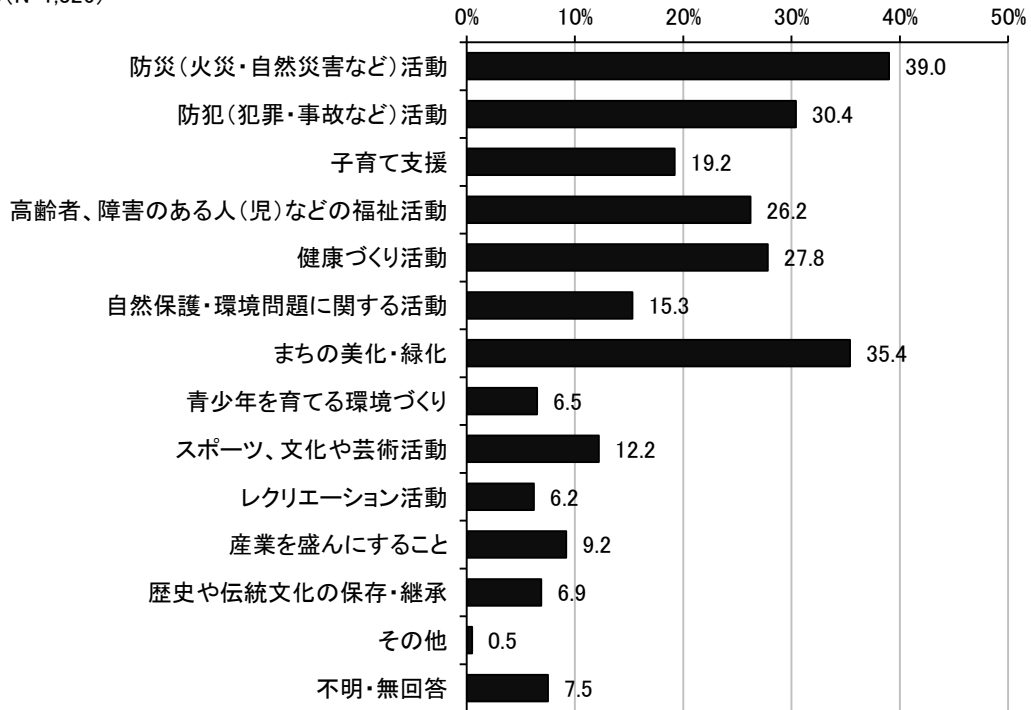
年齢別にみると、『10 歳代』『40 歳代』『50 歳代』『60 歳代』『70 歳代以上』では「市民参加活動の内容・時間・場所・方法など、参加しやすい運営上の工夫」、『20 歳代』『30 歳代』では「まちづくり活動の情報提供やPRの充実」が多くなっています。

上段:件数 下段:%	アンケート等 による市民 の意見聴取	各種委員会 や審議会へ の一般市民 の参加	まちづくり活 動の情報提 供やPRの 充実	市民参加活 動の内容・ 時間・場所・ 方法など、 参加しやす い運営上の 工夫	市民参加活 動に関する 魅力的な講 座や催しな どの学習機 会の充実	市民参加活 動の指導者 の育成や講 師の紹介・ 派遣など	ボランティア 団体、各種 団体・サー クル等の育 成や活動支 援の充実	その他	不明・ 無回答	
全体 N=1,326	512 38.6	264 19.9	569 42.9	600 45.2	328 24.7	132 10.0	331 25.0	26 2.0	126 9.5	
年 齢 別	10歳代 N=24	5 20.8	3 12.5	12 50.0	13 54.2	6 25.0	0 0.0	6 25.0	0 0.0	1 4.2
	20歳代 N=85	29 34.1	14 16.5	38 44.7	32 37.6	15 17.6	6 7.1	24 28.2	0 0.0	10 11.8
	30歳代 N=142	52 36.6	25 17.6	74 52.1	71 50.0	38 26.8	16 11.3	32 22.5	3 2.1	3 2.1
	40歳代 N=171	70 40.9	37 21.6	63 36.8	71 41.5	39 22.8	16 9.4	49 28.7	5 2.9	8 4.7
	50歳代 N=162	64 39.5	26 16.0	68 42.0	79 48.8	38 23.5	20 12.3	46 28.4	4 2.5	16 9.9
	60歳代 N=339	130 38.3	69 20.4	140 41.3	154 45.4	82 24.2	38 11.2	79 23.3	6 1.8	35 10.3
	70歳代以上 N=395	160 40.5	89 22.5	170 43.0	179 45.3	110 27.8	35 8.9	94 23.8	7 1.8	50 12.7

問 25 あなたは協働のまちづくりを推進するために、皆さんが地域の中で取り組めることは何だと思いますか。(3つまで○)

協働のまちづくりを推進するために、地域の中で取り組めることについて、「防災(火災・自然災害など)活動」が39.0%と最も高く、次いで「まちの美化・緑化」が35.4%、「防犯(犯罪・事故など)活動」が30.4%となっています。

全体(N=1,326)



■問 25 × 年齢別

年齢別にみると、『10 歳代』『50 歳代』『60 歳代』では「防災（火災・自然災害など）活動」、『20 歳代』では「まちの美化・緑化」、『30 歳代』では「子育て支援」、『40 歳代』では「防災（火災・自然災害など）活動」「まちの美化・緑化」、『70 歳代以上』では「健康づくり活動」が多くなっています。

上段：件数 下段：%	防災（火災・ 自然災害な ど）活動	防犯（犯罪・ 事故など） 活動	子育て支援	高齢者、障 害のある人 （児）などの 福祉活動	健康づくり 活動	自然保護・ 環境問題に 関する活動	まちの 美化・緑化	
全体 N=1,326	517 39.0	403 30.4	255 19.2	347 26.2	369 27.8	203 15.3	470 35.4	
年 齢 別	10歳代 N=24	14 58.3	6 25.0	4 16.7	3 12.5	5 20.8	0 0.0	11 45.8
	20歳代 N=85	31 36.5	30 35.3	22 25.9	17 20.0	11 12.9	10 11.8	34 40.0
	30歳代 N=142	55 38.7	55 38.7	60 42.3	33 23.2	19 13.4	16 11.3	53 37.3
	40歳代 N=171	74 43.3	57 33.3	48 28.1	41 24.0	25 14.6	28 16.4	74 43.3
	50歳代 N=162	67 41.4	55 34.0	23 14.2	41 25.3	38 23.5	28 17.3	66 40.7
	60歳代 N=339	133 39.2	98 28.9	55 16.2	80 23.6	122 36.0	57 16.8	128 37.8
	70歳代以上 N=395	140 35.4	99 25.1	42 10.6	130 32.9	148 37.5	64 16.2	103 26.1
上段：件数 下段：%	青少年を 育てる環境 づくり	スポーツ、 文化や芸術 活動	レクリエー ション活動	産業を盛ん にすること	歴史や伝統 文化の 保存・継承	その他	不明・ 無回答	
全体 N=1,326	86 6.5	162 12.2	82 6.2	122 9.2	92 6.9	7 0.5	100 7.5	
年 齢 別	10歳代 N=24	2 8.3	8 33.3	1 4.2	4 16.7	0 0.0	0 0.0	1 4.2
	20歳代 N=85	6 7.1	12 14.1	2 2.4	11 12.9	4 4.7	1 1.2	2 2.4
	30歳代 N=142	9 6.3	24 16.9	9 6.3	14 9.9	8 5.6	1 0.7	3 2.1
	40歳代 N=171	10 5.8	32 18.7	11 6.4	13 7.6	13 7.6	1 0.6	5 2.9
	50歳代 N=162	10 6.2	25 15.4	8 4.9	10 6.2	8 4.9	1 0.6	8 4.9
	60歳代 N=339	19 5.6	30 8.8	21 6.2	22 6.5	23 6.8	1 0.3	28 8.3
	70歳代以上 N=395	29 7.3	30 7.6	29 7.3	48 12.2	36 9.1	2 0.5	50 12.7

■問 25 × 小学校区別

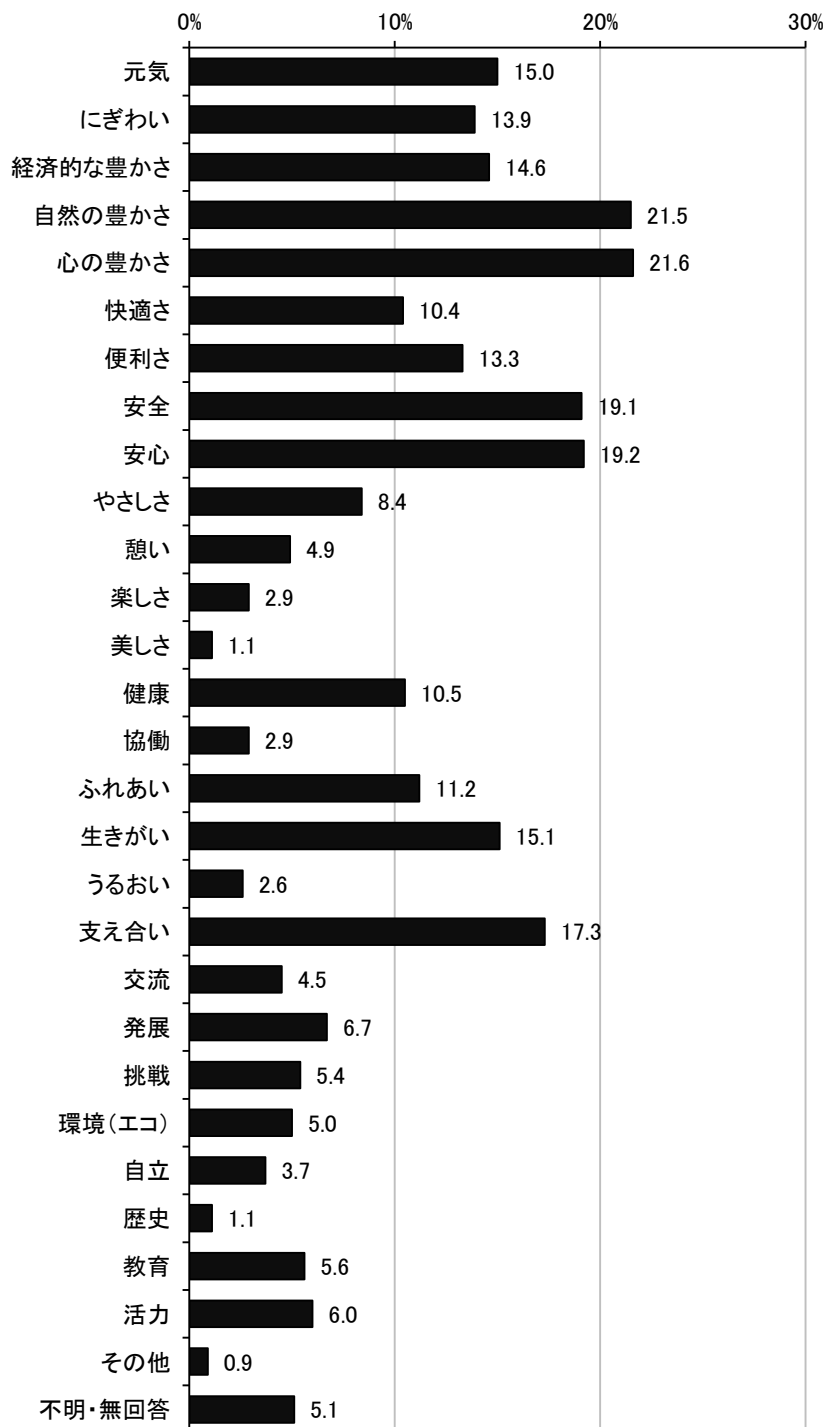
小学校区別にみると、『相生小学校区』『那波小学校区』『双葉小学校区』『若狭野小学校区』『矢野小学校区』『青葉台小学校区』では「防災（火災・自然災害など）活動」、『中央小学校区』では「まちの美化・緑化」が多くなっています。

上段:件数 下段:%	防災(火災・ 自然災害な ど)活動	防犯(犯罪・ 事故など) 活動	子育て支援	高齢者、障 害のある人 (児)などの 福祉活動	健康づくり 活動	自然保護・ 環境問題に 関する活動	まちの 美化・緑化	
全体 N=1,326	517 39.0	403 30.4	255 19.2	347 26.2	369 27.8	203 15.3	470 35.4	
小 学 校 区 別	相生小学校区 N=95	44 46.3	21 22.1	12 12.6	25 26.3	28 29.5	15 15.8	36 37.9
	那波小学校区 N=130	55 42.3	39 30.0	28 21.5	30 23.1	44 33.8	16 12.3	50 38.5
	双葉小学校区 N=346	134 38.7	117 33.8	65 18.8	88 25.4	93 26.9	52 15.0	127 36.7
	若狭野小学校区 N=105	42 40.0	28 26.7	22 21.0	28 26.7	32 30.5	16 15.2	28 26.7
	矢野小学校区 N=88	34 38.6	16 18.2	12 13.6	27 30.7	29 33.0	16 18.2	25 28.4
	青葉台小学校区 N=260	103 39.6	87 33.5	48 18.5	81 31.2	75 28.8	42 16.2	89 34.2
	中央小学校区 N=273	98 35.9	93 34.1	63 23.1	61 22.3	61 22.3	44 16.1	111 40.7
	上段:件数 下段:%	青少年を 育てる環境 づくり	スポーツ、 文化や芸術 活動	レクリエー ション活動	産業を盛ん にすること	歴史や伝統 文化の 保存・継承	その他	不明・ 無回答
全体 N=1,326	86 6.5	162 12.2	82 6.2	122 9.2	92 6.9	7 0.5	100 7.5	
小 学 校 区 別	相生小学校区 N=95	4 4.2	9 9.5	5 5.3	8 8.4	10 10.5	0 0.0	10 10.5
	那波小学校区 N=130	2 1.5	20 15.4	7 5.4	12 9.2	8 6.2	2 1.5	5 3.8
	双葉小学校区 N=346	24 6.9	39 11.3	18 5.2	32 9.2	13 3.8	2 0.6	27 7.8
	若狭野小学校区 N=105	10 9.5	11 10.5	5 4.8	11 10.5	9 8.6	1 1.0	8 7.6
	矢野小学校区 N=88	8 9.1	5 5.7	3 3.4	10 11.4	7 8.0	0 0.0	9 10.2
	青葉台小学校区 N=260	14 5.4	33 12.7	24 9.2	18 6.9	25 9.6	0 0.0	16 6.2
	中央小学校区 N=273	22 8.1	37 13.6	16 5.9	28 10.3	19 7.0	1 0.4	18 6.6

問 26 あなたは、めざしていきべき相生市像を表すものとして、どのような「言葉（キーワード）」がふさわしいと思いますか。（3つまで○）

めざしていきべき相生市像を表すものとして、ふさわしいと思う「言葉（キーワード）」について、「心の豊かさ」が21.6%と最も高く、次いで「自然の豊かさ」が21.5%、「安心」が19.2%、「安全」が19.1%となっています。

全体(N=1,326)



■問 26 × 性別

性別にみると、『男性』では「心の豊かさ」、『女性』では「自然の豊かさ」が多くなっています。

上段:件数 下段:%		元気	にぎわい	経済的な 豊かさ	自然の 豊かさ	心の 豊かさ	快適さ	便利さ	安全	安心	やさしさ
全体 N=1,326		199 15.0	184 13.9	193 14.6	285 21.5	287 21.6	138 10.4	177 13.3	253 19.1	255 19.2	112 8.4
性別	男性 N=592	94 15.9	85 14.4	85 14.4	115 19.4	126 21.3	66 11.1	72 12.2	123 20.8	112 18.9	52 8.8
	女性 N=722	103 14.3	99 13.7	107 14.8	166 23.0	158 21.9	72 10.0	104 14.4	128 17.7	141 19.5	58 8.0
上段:件数 下段:%		憩い	楽しさ	美しさ	健康	協働	ふれあい	生きがい	うるおい	支え合い	交流
全体 N=1,326		65 4.9	39 2.9	15 1.1	139 10.5	39 2.9	148 11.2	200 15.1	35 2.6	230 17.3	60 4.5
性別	男性 N=592	29 4.9	24 4.1	9 1.5	60 10.1	23 3.9	74 12.5	98 16.6	19 3.2	81 13.7	30 5.1
	女性 N=722	36 5.0	15 2.1	6 0.8	76 10.5	16 2.2	74 10.2	101 14.0	16 2.2	146 20.2	30 4.2
上段:件数 下段:%		発展	挑戦	環境 (エコ)	自立	歴史	教育	活力	その他	不明・ 無回答	
全体 N=1,326		89 6.7	72 5.4	66 5.0	49 3.7	14 1.1	74 5.6	80 6.0	12 0.9	67 5.1	
性別	男性 N=592	32 5.4	45 7.6	25 4.2	24 4.1	8 1.4	31 5.2	30 5.1	6 1.0	35 5.9	
	女性 N=722	57 7.9	27 3.7	39 5.4	25 3.5	6 0.8	43 6.0	50 6.9	6 0.8	29 4.0	

■問 26 × 年齢別

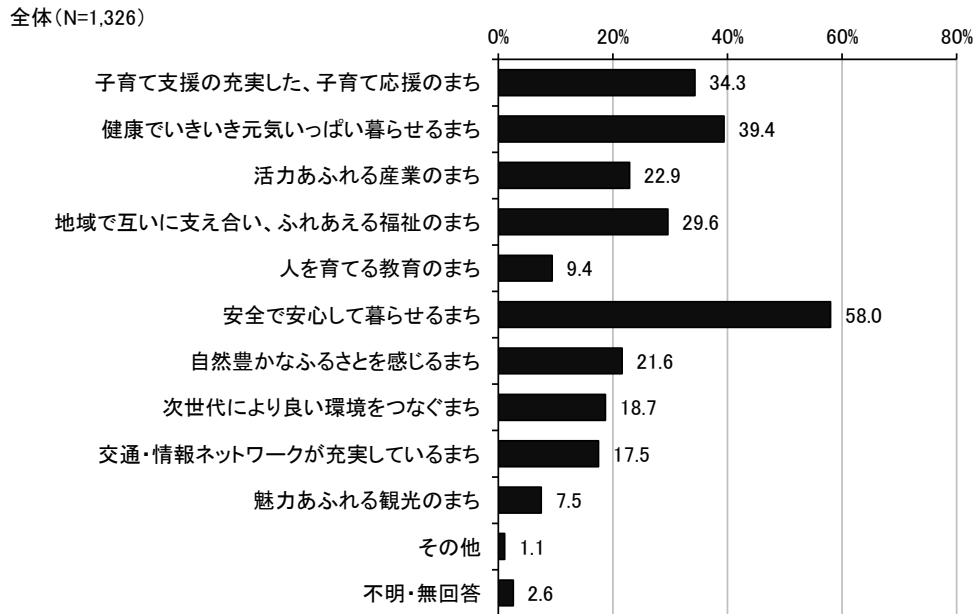
年齢別にみると、『10歳代』では「自然の豊かさ」「便利さ」、『20歳代』『50歳代』では「安心」、『30歳代』では「安全」、『40歳代』では「自然の豊かさ」、『60歳代』『70歳代以上』では「心の豊かさ」が多くなっています。

上段:件数 下段:%	元気	にぎわい	経済的 な豊かさ	自然の 豊かさ	心の 豊かさ	快適さ	便利さ	安全	安心	やさしさ	憩い	楽しさ	美しさ	健康	協働	
全体 N=1,326	199 15.0	184 13.9	193 14.6	285 21.5	287 21.6	138 10.4	177 13.3	253 19.1	255 19.2	112 8.4	65 4.9	39 2.9	15 1.1	139 10.5	39 2.9	
年齢別	10歳代 N=24	4 16.7	5 20.8	6 25.0	7 29.2	2 8.3	4 16.7	7 29.2	6 25.0	1 4.2	1 4.2	2 8.3	1 4.2	1 4.2	1 4.2	1 4.2
	20歳代 N=85	9 10.6	12 14.1	15 17.6	18 21.2	16 18.8	13 15.3	15 17.6	15 17.6	21 24.7	11 12.9	6 7.1	2 2.4	2 2.4	2 2.4	3 3.5
	30歳代 N=142	16 11.3	27 19.0	29 20.4	26 18.3	28 19.7	19 13.4	23 16.2	30 21.1	27 19.0	9 6.3	7 4.9	4 2.8	0 0.0	8 5.6	7 4.9
	40歳代 N=171	19 11.1	33 19.3	25 14.6	47 27.5	37 21.6	21 12.3	28 16.4	39 22.8	37 21.6	16 9.4	6 3.5	6 3.5	3 1.8	13 7.6	8 4.7
	50歳代 N=162	19 11.7	22 13.6	28 17.3	30 18.5	27 16.7	29 17.9	30 18.5	36 22.2	38 23.5	13 8.0	12 7.4	6 3.7	3 1.9	20 12.3	4 2.5
	60歳代 N=339	49 14.5	41 12.1	36 10.6	73 21.5	77 22.7	27 8.0	35 10.3	64 18.9	65 19.2	31 9.1	23 6.8	6 1.8	3 0.9	40 11.8	3 0.9
	70歳代以上 N=395	81 20.5	43 10.9	54 13.7	82 20.8	100 25.3	25 6.3	38 9.6	62 15.7	65 16.5	31 7.8	9 2.3	14 3.5	3 0.8	53 13.4	13 3.3
	上段:件数 下段:%	ふれあい	生きがい	うるおい	支え合い	交流	発展	挑戦	環境 (エコ)	自立	歴史	教育	活力	その他	不明・ 無回答	
全体 N=1,326	148 11.2	200 15.1	35 2.6	230 17.3	60 4.5	89 6.7	72 5.4	66 5.0	49 3.7	14 1.1	74 5.6	80 6.0	12 0.9	67 5.1		
年齢別	10歳代 N=24	2 8.3	1 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 20.8	3 12.5	0 0.0	2 8.3	0 0.0	2 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	20歳代 N=85	11 12.9	7 8.2	3 3.5	11 12.9	4 4.7	6 7.1	9 10.6	4 4.7	1 1.2	2 2.4	7 8.2	3 3.5	1 1.2	1 1.2	
	30歳代 N=142	12 8.5	11 7.7	1 0.7	27 19.0	7 4.9	19 13.4	11 7.7	4 2.8	3 2.1	1 0.7	19 13.4	9 6.3	4 2.8	2 1.4	
	40歳代 N=171	17 9.9	18 10.5	2 1.2	25 14.6	7 4.1	14 8.2	14 8.2	13 7.6	6 3.5	1 0.6	14 8.2	8 4.7	2 1.2	3 1.8	
	50歳代 N=162	12 7.4	13 8.0	5 3.1	17 10.5	12 7.4	4 2.5	7 4.3	9 5.6	4 2.5	2 1.2	10 6.2	12 7.4	1 0.6	6 3.7	
	60歳代 N=339	42 12.4	63 18.6	14 4.1	65 19.2	12 3.5	22 6.5	17 5.0	16 4.7	19 5.6	5 1.5	12 3.5	25 7.4	2 0.6	20 5.9	
	70歳代以上 N=395	52 13.2	87 22.0	10 2.5	82 20.8	18 4.6	19 4.8	11 2.8	18 4.6	14 3.5	3 0.8	10 2.5	23 5.8	2 0.5	32 8.1	

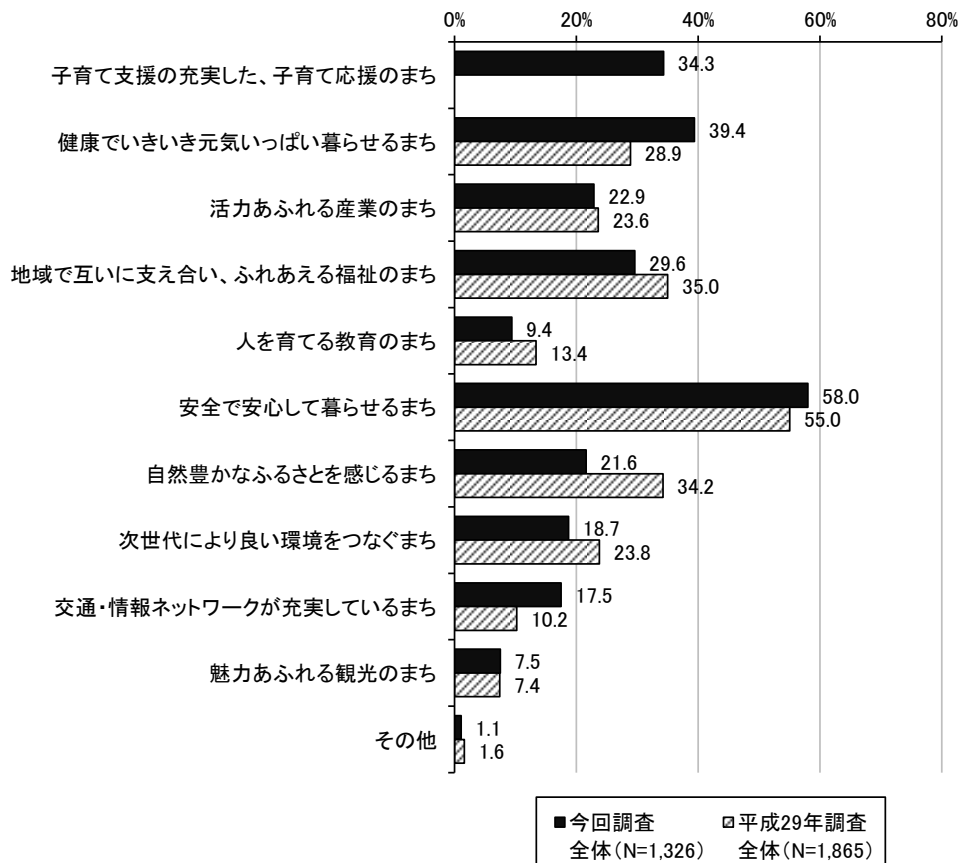
問 27 相生市の将来イメージとして、どのようなまちが望ましいと思いますか。(3つまで〇)

相生市の将来イメージとして、どのようなまちが望ましいと思うかについて、「安全で安心して暮らせるまち」が 58.0%と最も高く、次いで「健康でいきいき元気いっぱい暮らせるまち」が 39.4%、「子育て支援の充実した、子育て応援のまち」が 34.3%となっています。

経年比較をみると、平成 29 年調査においても「安全で安心して暮らせるまち」が最も高くなっています。



■ 過去調査との経年比較



■問 27 × 年齢別

年齢別にみると、『10歳代』『30歳代』では「子育て支援の充実した、子育て応援のまち」、『20歳代』『40歳代』『50歳代』『60歳代』『70歳代以上』では「安全で安心して暮らせるまち」が多くなっています。

上段:件数 下段:%	子育て支援の 充実した、 子育て応援の まち	健康でいきい き元気いっば い暮らせる まち	活力あふれる 産業のまち	地域で互いに 支え合い、ふ れあえる福祉 のまち	人を育てる 教育のまち	安全で安心 して暮らせる まち	
全体 N=1,326	455 34.3	523 39.4	303 22.9	392 29.6	124 9.4	769 58.0	
年 齢 別	10歳代 N=24	14 58.3	4 16.7	5 20.8	3 12.5	6 25.0	10 41.7
	20歳代 N=85	42 49.4	21 24.7	15 17.6	20 23.5	6 7.1	43 50.6
	30歳代 N=142	83 58.5	37 26.1	30 21.1	36 25.4	26 18.3	71 50.0
	40歳代 N=171	78 45.6	57 33.3	38 22.2	38 22.2	22 12.9	99 57.9
	50歳代 N=162	47 29.0	60 37.0	36 22.2	41 25.3	11 6.8	109 67.3
	60歳代 N=339	87 25.7	146 43.1	74 21.8	104 30.7	22 6.5	208 61.4
	70歳代以上 N=395	99 25.1	196 49.6	104 26.3	148 37.5	30 7.6	225 57.0
上段:件数 下段:%	自然豊かな ふるさとを 感じるまち	次世代により 良い環境を つなぐまち	交通・情報 ネットワーク が充実して いるまち	魅力あふれる 観光のまち	その他	不明・ 無回答	
全体 N=1,326	287 21.6	248 18.7	232 17.5	100 7.5	15 1.1	35 2.6	
年 齢 別	10歳代 N=24	4 16.7	4 16.7	8 33.3	3 12.5	0 0.0	0 0.0
	20歳代 N=85	22 25.9	18 21.2	19 22.4	5 5.9	2 2.4	2 2.4
	30歳代 N=142	29 20.4	29 20.4	19 13.4	14 9.9	2 1.4	2 1.4
	40歳代 N=171	34 19.9	29 17.0	36 21.1	16 9.4	2 1.2	2 1.2
	50歳代 N=162	28 17.3	24 14.8	39 24.1	12 7.4	3 1.9	4 2.5
	60歳代 N=339	84 24.8	57 16.8	55 16.2	27 8.0	3 0.9	10 2.9
	70歳代以上 N=395	84 21.3	86 21.8	56 14.2	21 5.3	2 0.5	14 3.5

第6次相生市総合計画策定のための アンケート調査結果報告書

【発行年月】平成30年9月

【発行】相生市

【編集】相生市企画総務部企画広報課

〒678-8585 兵庫県相生市旭1丁目1番3号

TEL : 0791-23-7124 FAX : 0791-22-6439

MAIL : kikaku@city.aioi.lg.jp